



「先輩」と「私」

「先輩」

美術部の先輩。2年生。
黒髪ボブのいかにも文系といった
感じの見た目。実際は数学の方が
得意。
教室ではいつも一人で本を読んでいる。
クールで人を寄せ付けない印象



「私」

先輩に一目惚れして美術部に入る。
先輩と同じ高校に行きたいから、
勉強を頑張ってるらしい。
先輩はこっそり志望校のランクを
少し下げたとか。
要領は悪いけど人一倍努力家。



「先輩せんぱいはしたことがあるのかな、
.....キス。」





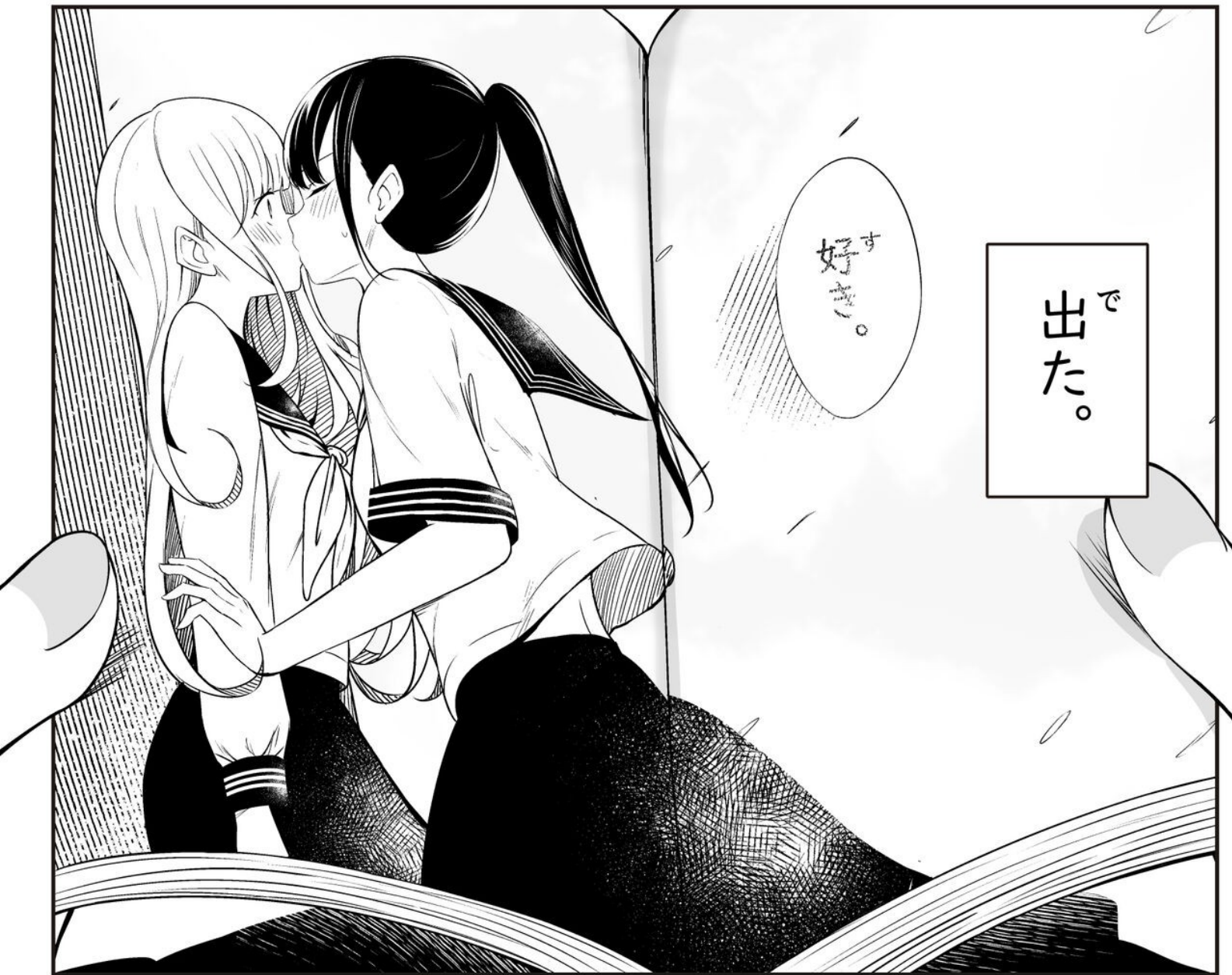
ほうかご
びじゅつしつ
せんぱい
ふたり
先輩と二人きり
放課後の美術室に

せなか
たいおん
まんが
よむ
背中
に体温を
感じながら
漫画を読む

じかん す
「この時間が好きだ。」



ペラッ



好き。

で
出た。



「キス
これ。」

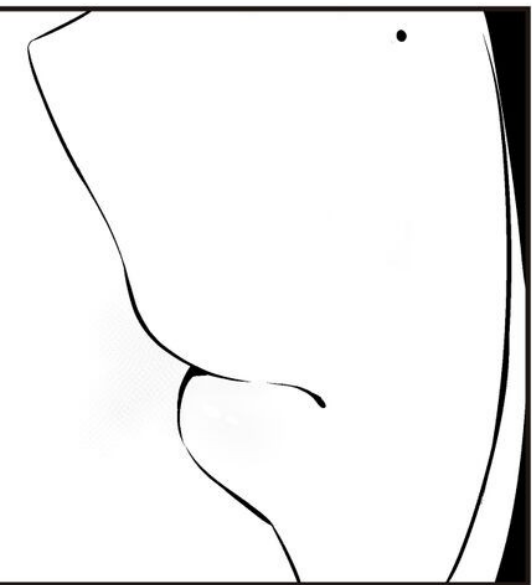
「そんなに良いのかな、」



したること
あるのかな

先輩は…

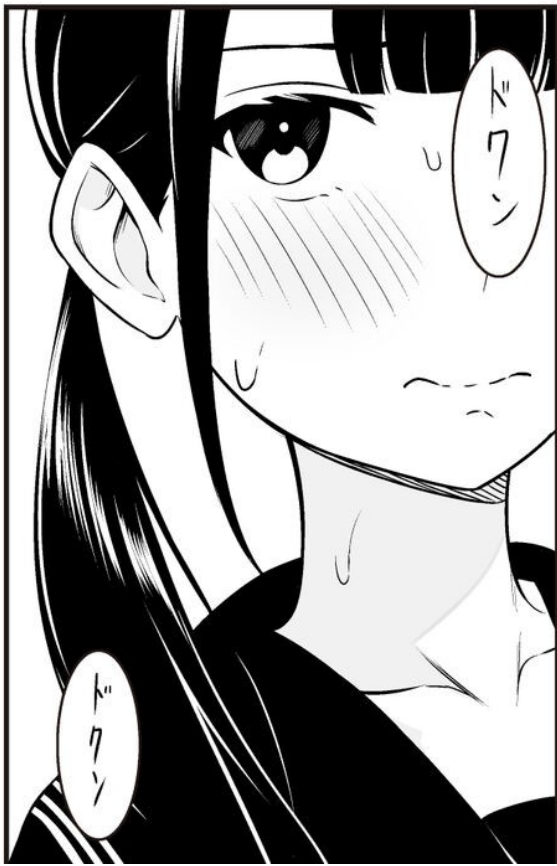
ちがっ



—キス。



あの、先輩



美術室

ドワン

ドワン

……
何^{なに}



絵^えを描^かくの^をを邪魔^{じゃま}した
から、少^{すこ}しだけ
不機嫌^{ふきげん}そうな声^{こえ}。

そのお……

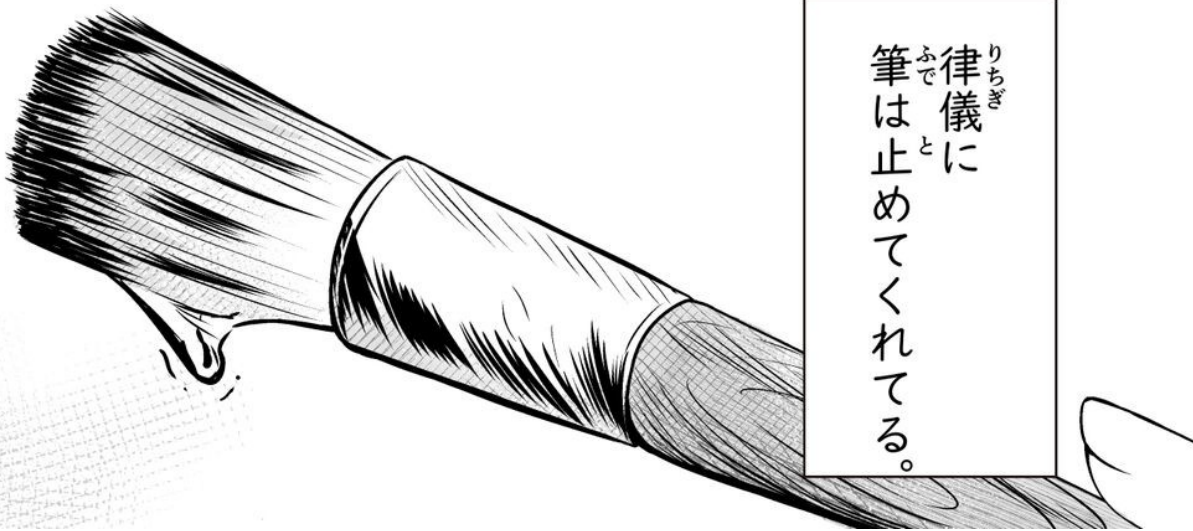
だけど、

えっと……

コッソ
コッソ

律儀^{りちぎ}に
筆^{ふで}は止^とめてく^れてる。

早^{はや}く
返^{へんじ}事^じしないと……



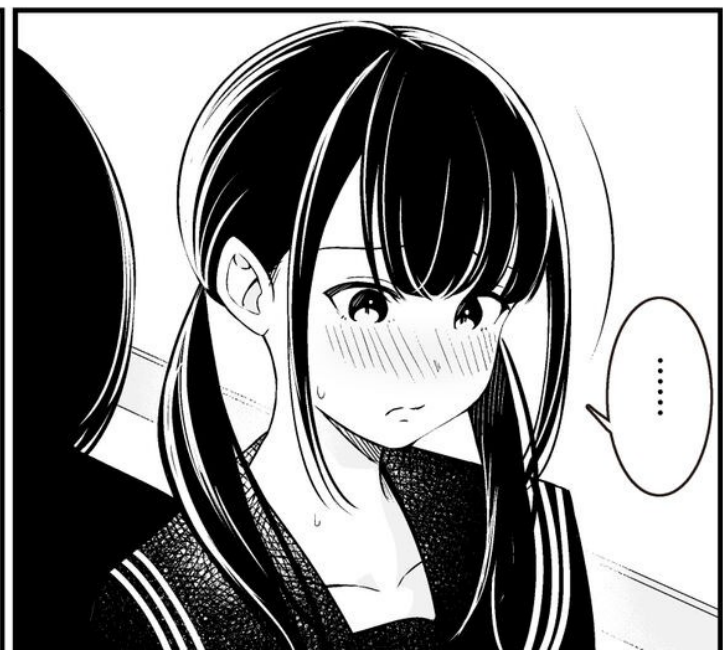


キスって

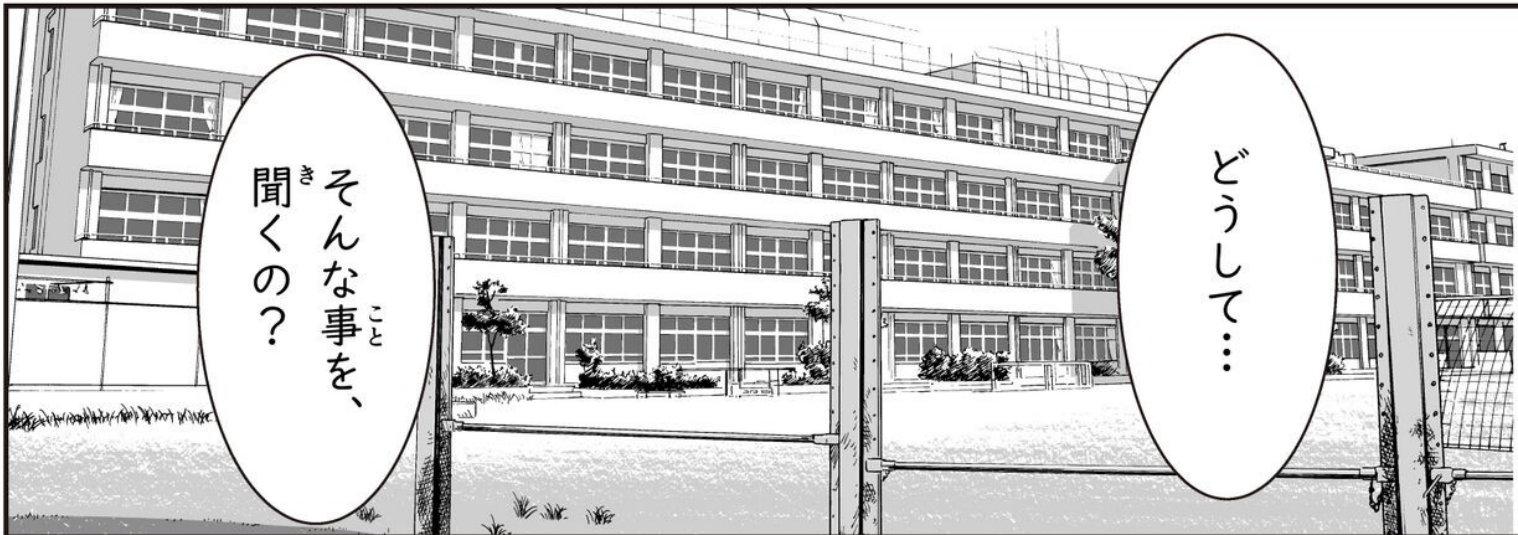
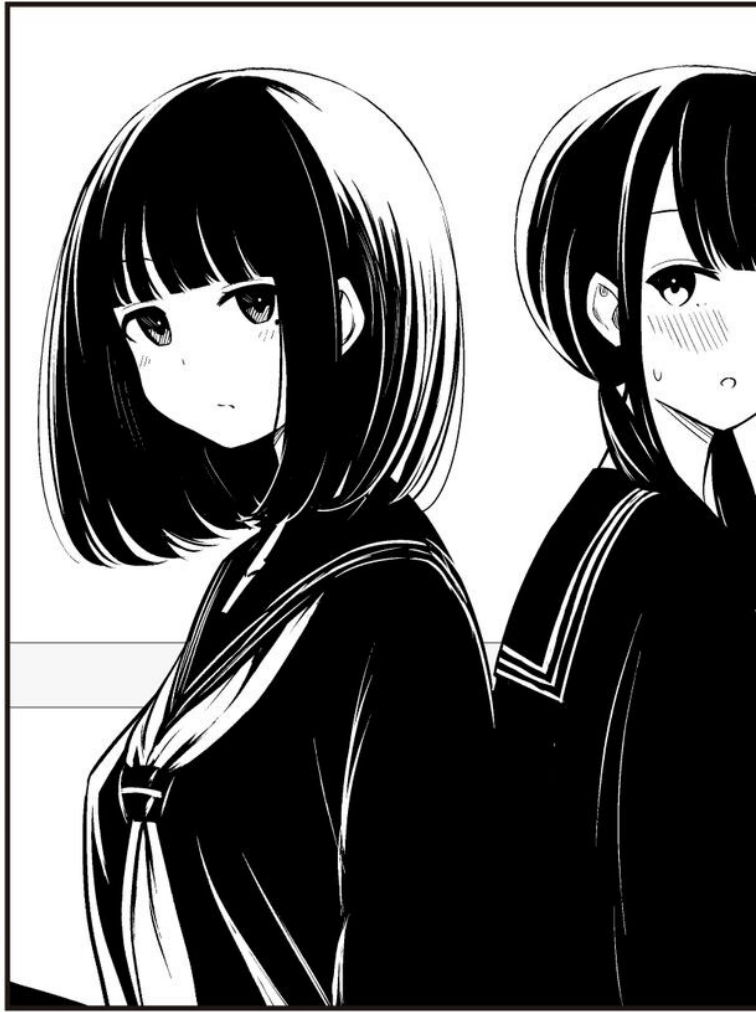
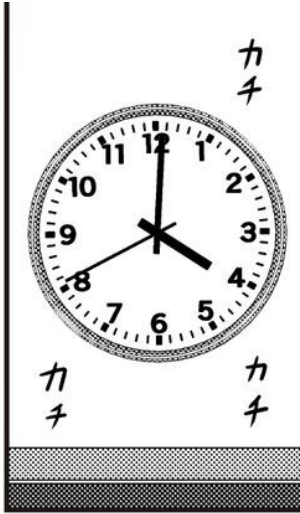
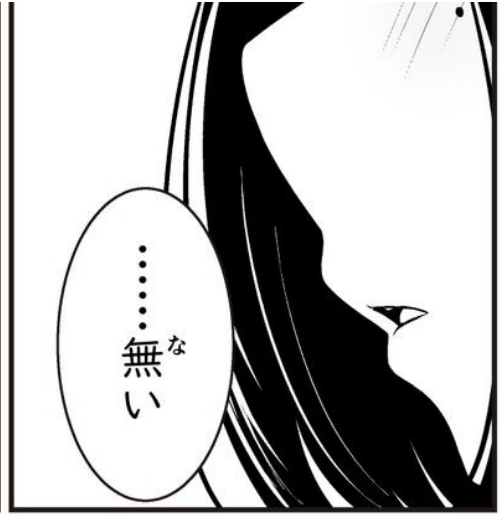
したこと
ありますか?



ぞやう



...

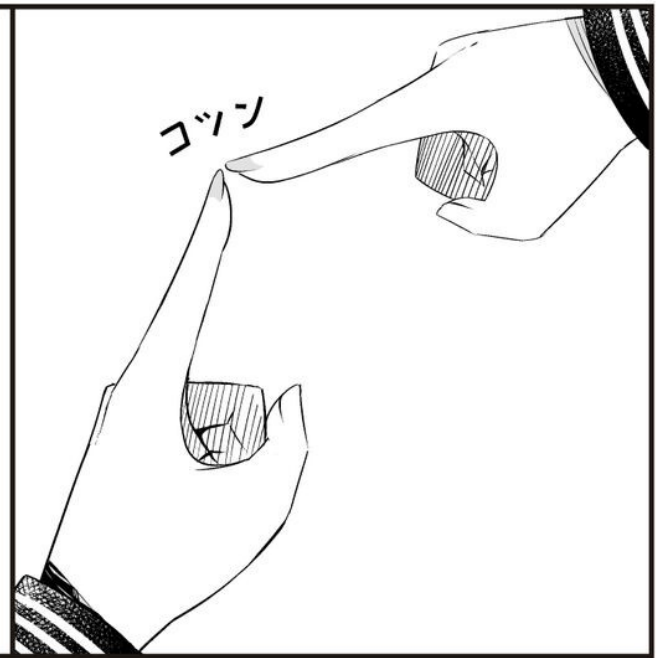




いまよ
今読んでる
まんが
漫画に

で
キスシーンが
出てきて……

「えーと、」



コッソ

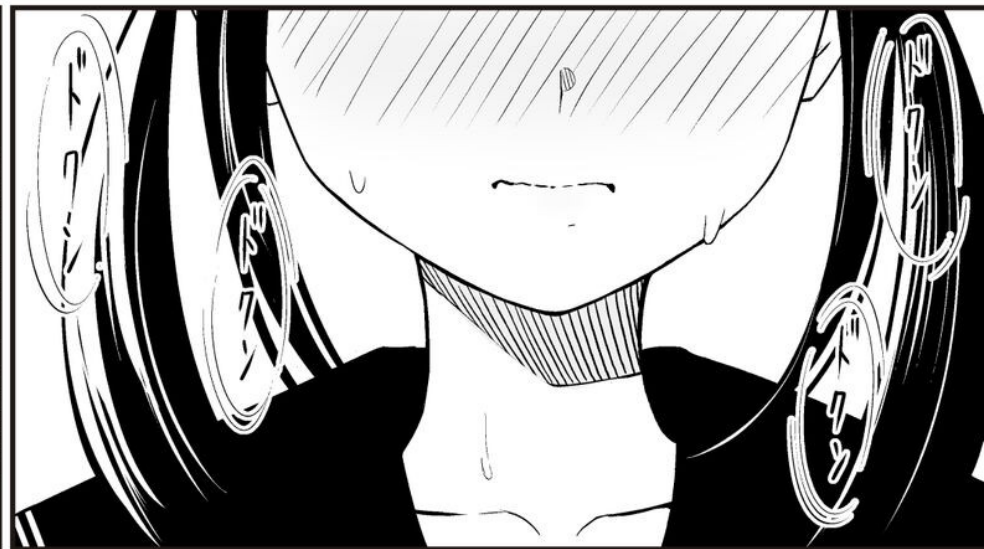
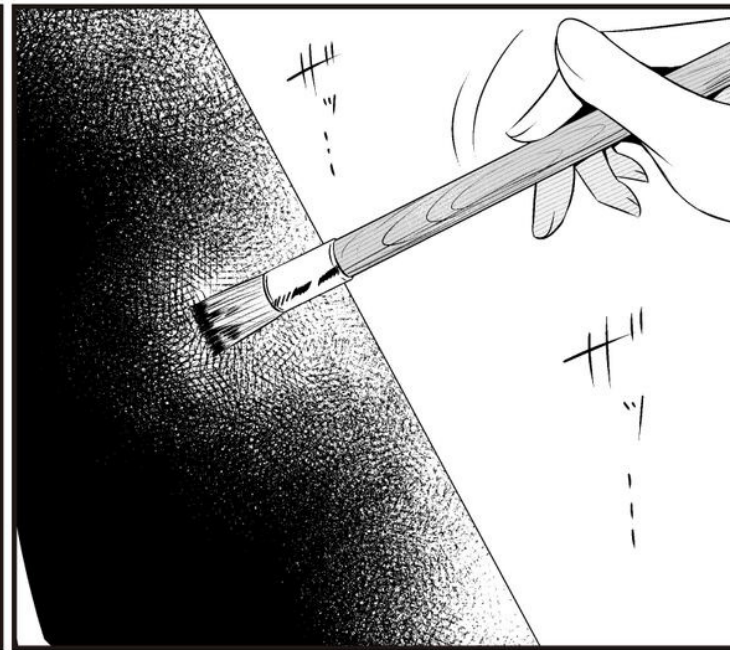
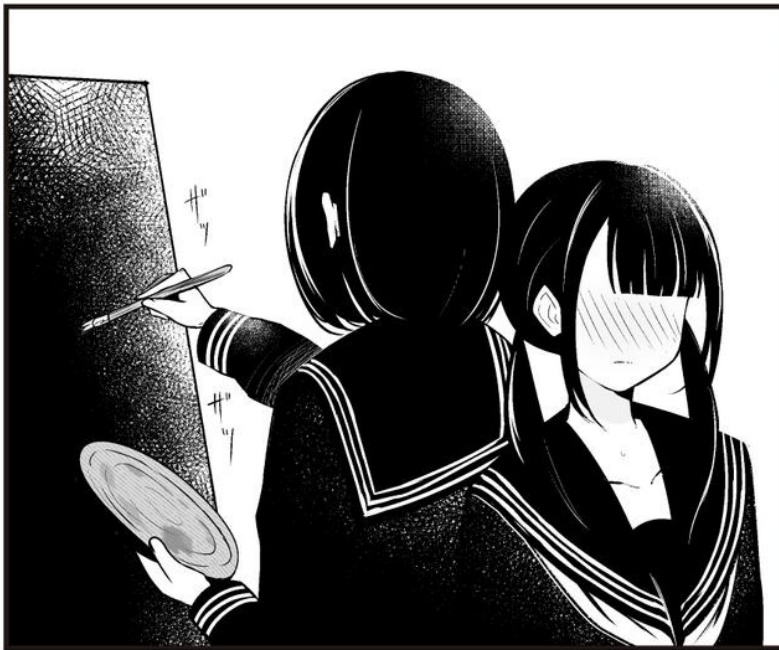


……そう



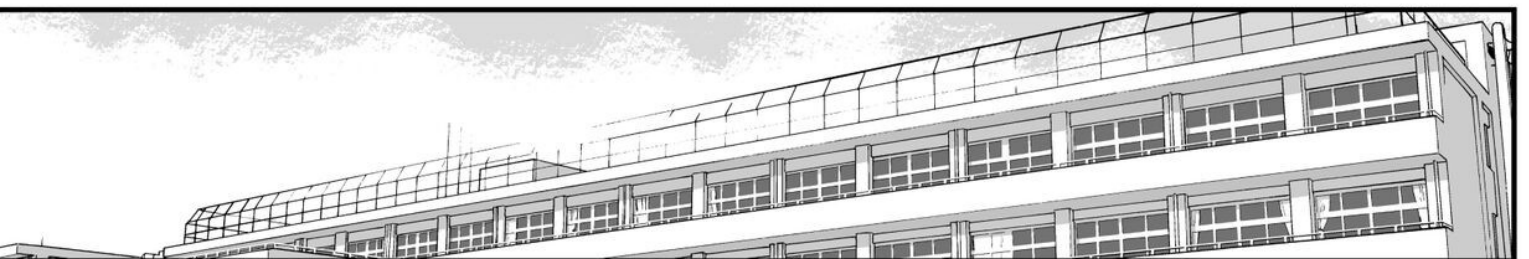
それで、じっさい
実際
どんな感じなのか

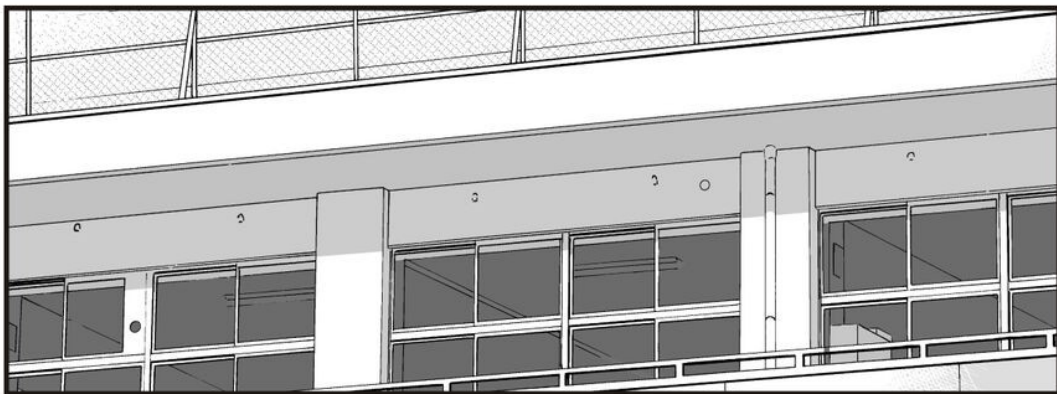
……き
気になって



キス：
してみませんか？

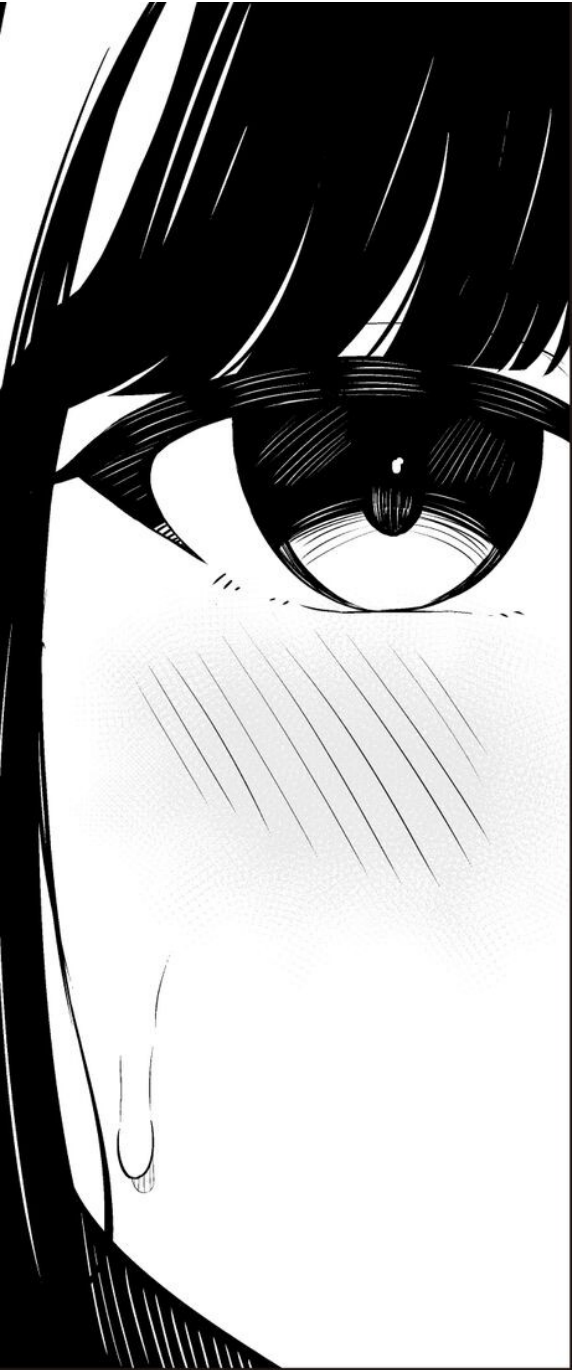
…
わたし
私と





いきお
勢いで言っ
てしまっ
ただけど
…

ほんとう
本当にし
ていいの
かな…？



せんぱい
先輩と

キス。



もしかして先輩も
緊張してる？

すこ
「少し……赤い？」
あか

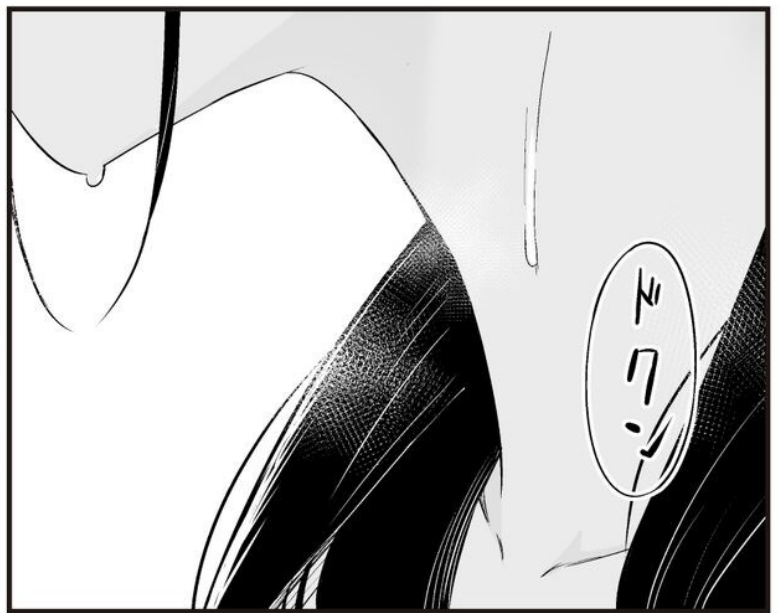
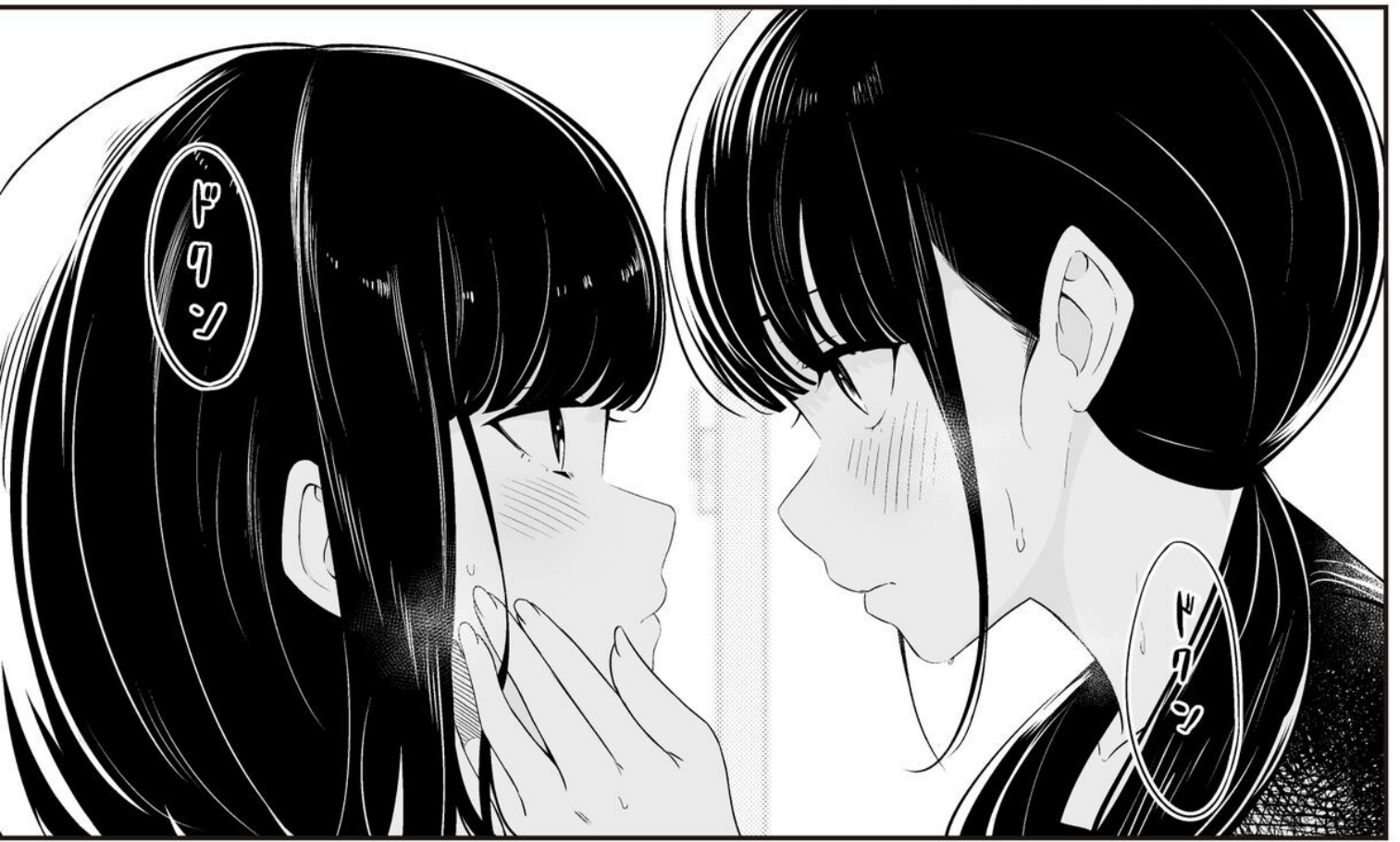
美術室の
静けさが、

グラウンドに響く
陸上部の声を際立たせる。

馬鹿みたいに
脈打つ心臓が、

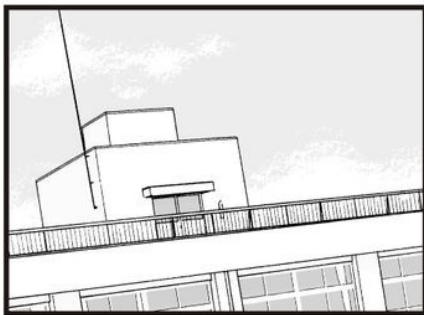
じゃあ、しますよ

先輩の耳に
届いてしまう前に…





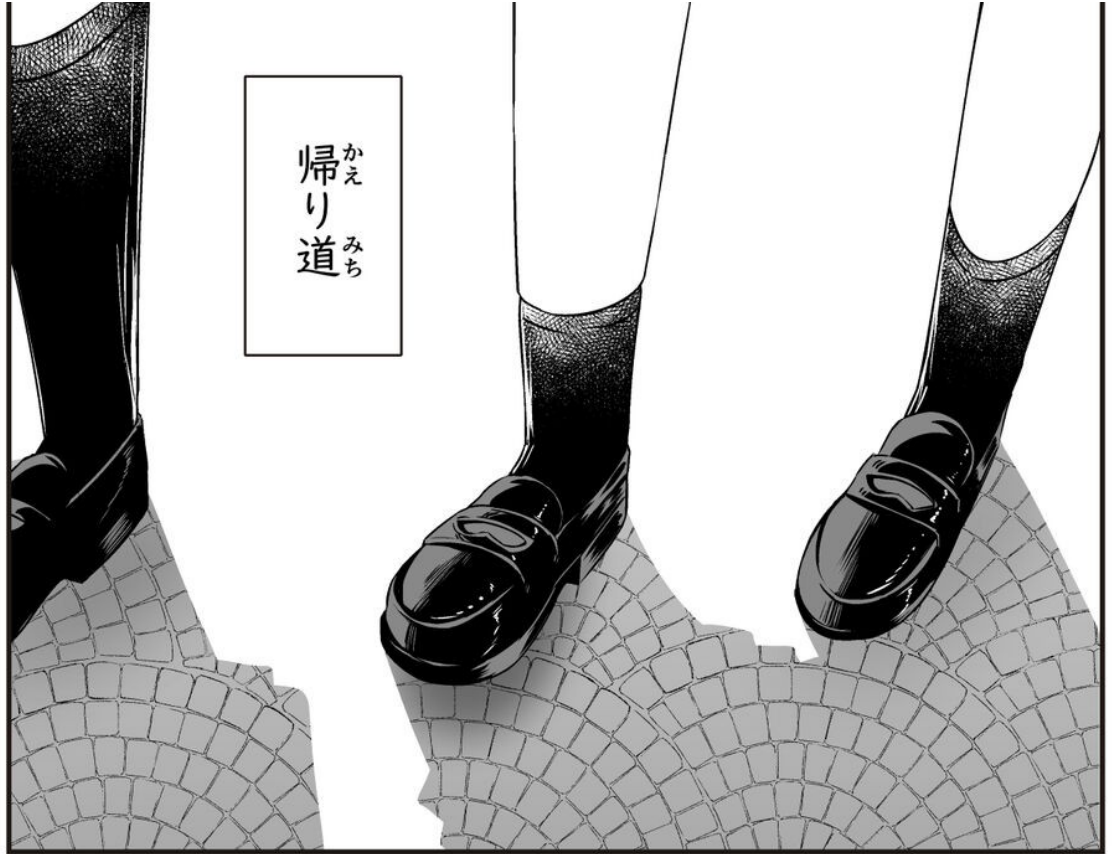




せんばい あじ
——先輩の味がした——



いろ
を
わす
れた
木々
と、



かえ
みち
帰
り
道



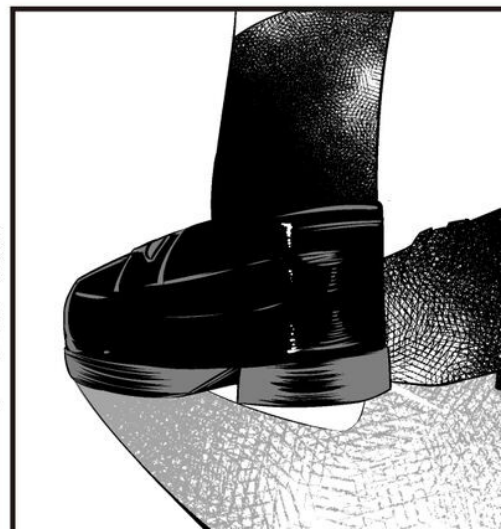
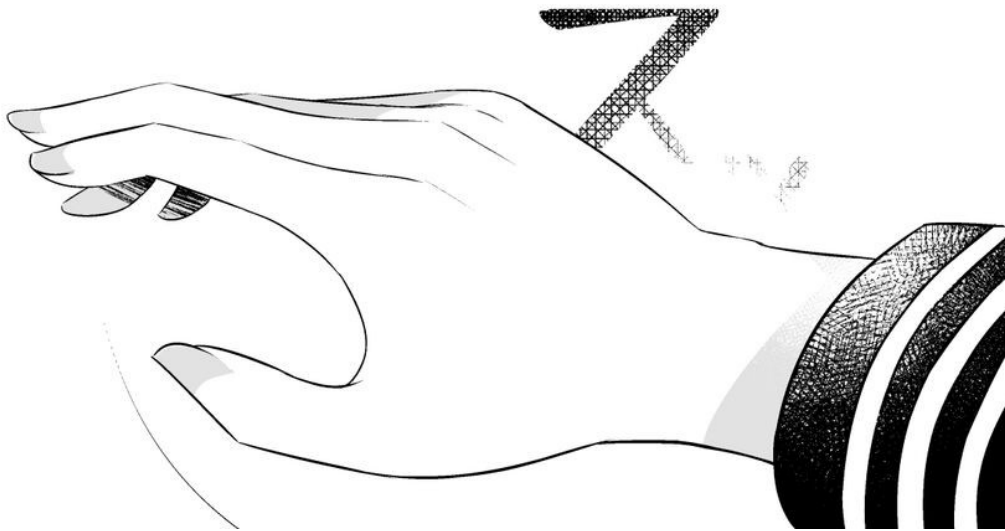
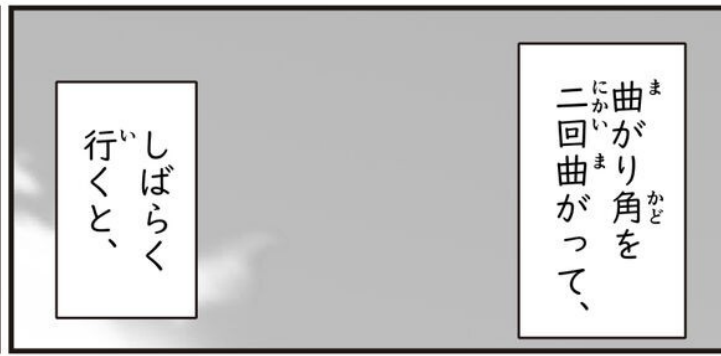
さむ
い。

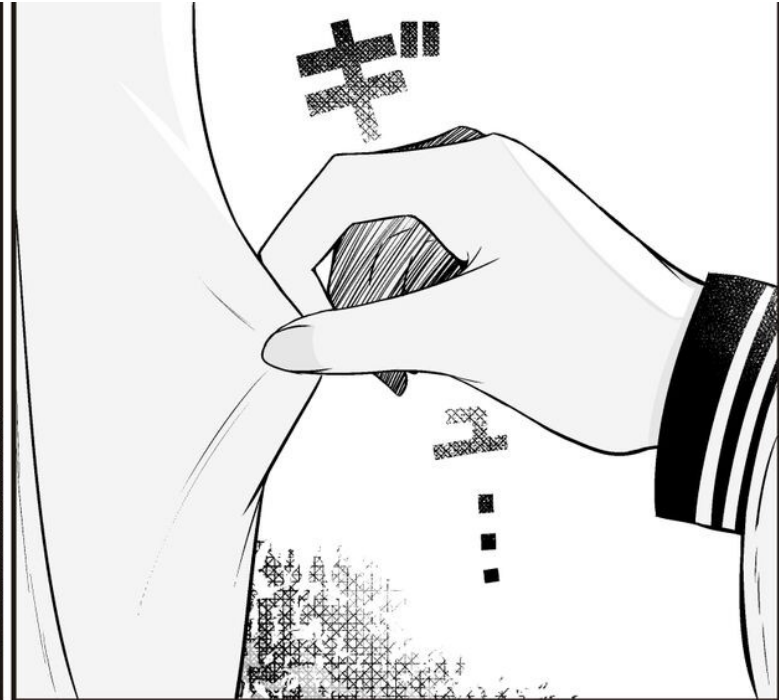


です
ね。





しろ
い
い
き
が
ふゆ
かん
冬
を
感
じ
さ
せ
る。



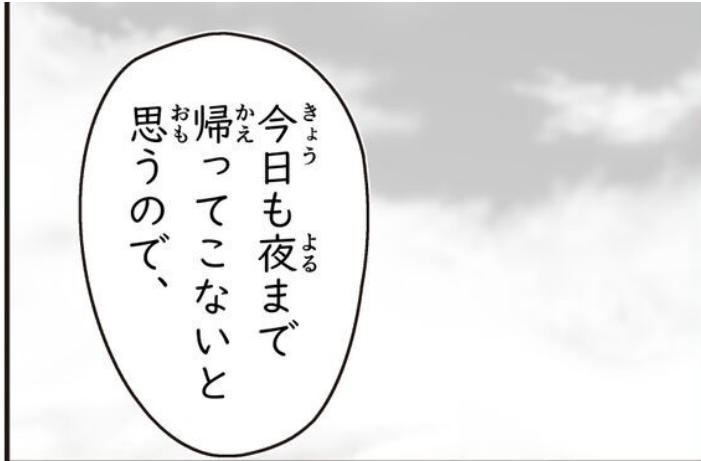


きょう
今日のことを
わす
忘れられてしまう
き
気がした。

このまま
わか
別れたら、




わたしりょうしん
私の両親、
ともばたら
共働きで




きょう
今日も夜まで
よる
かえ
帰ってこない
とおも
思うので、



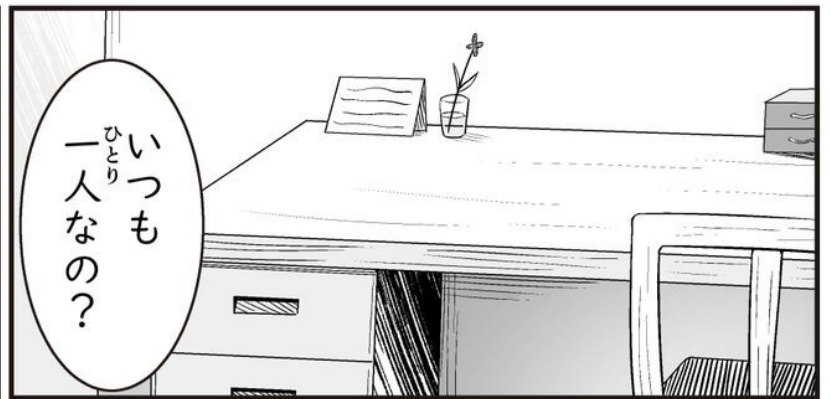
せんばい
先輩さえ
よかったら、

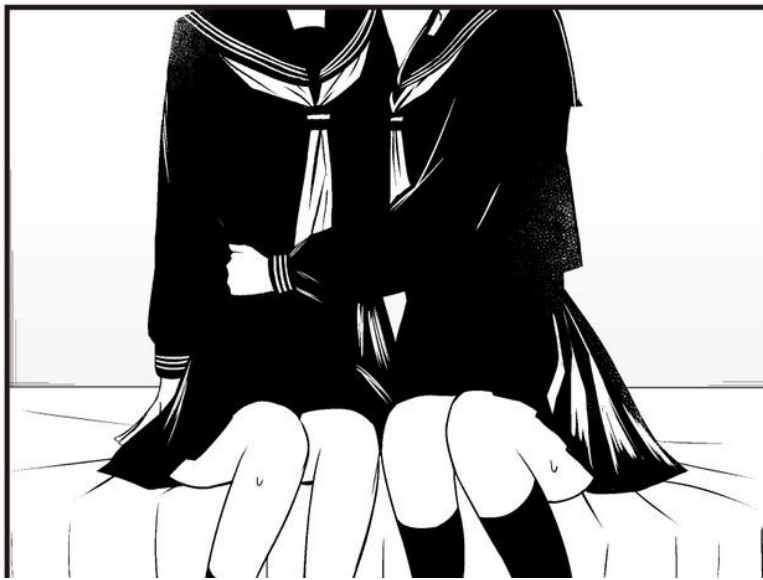
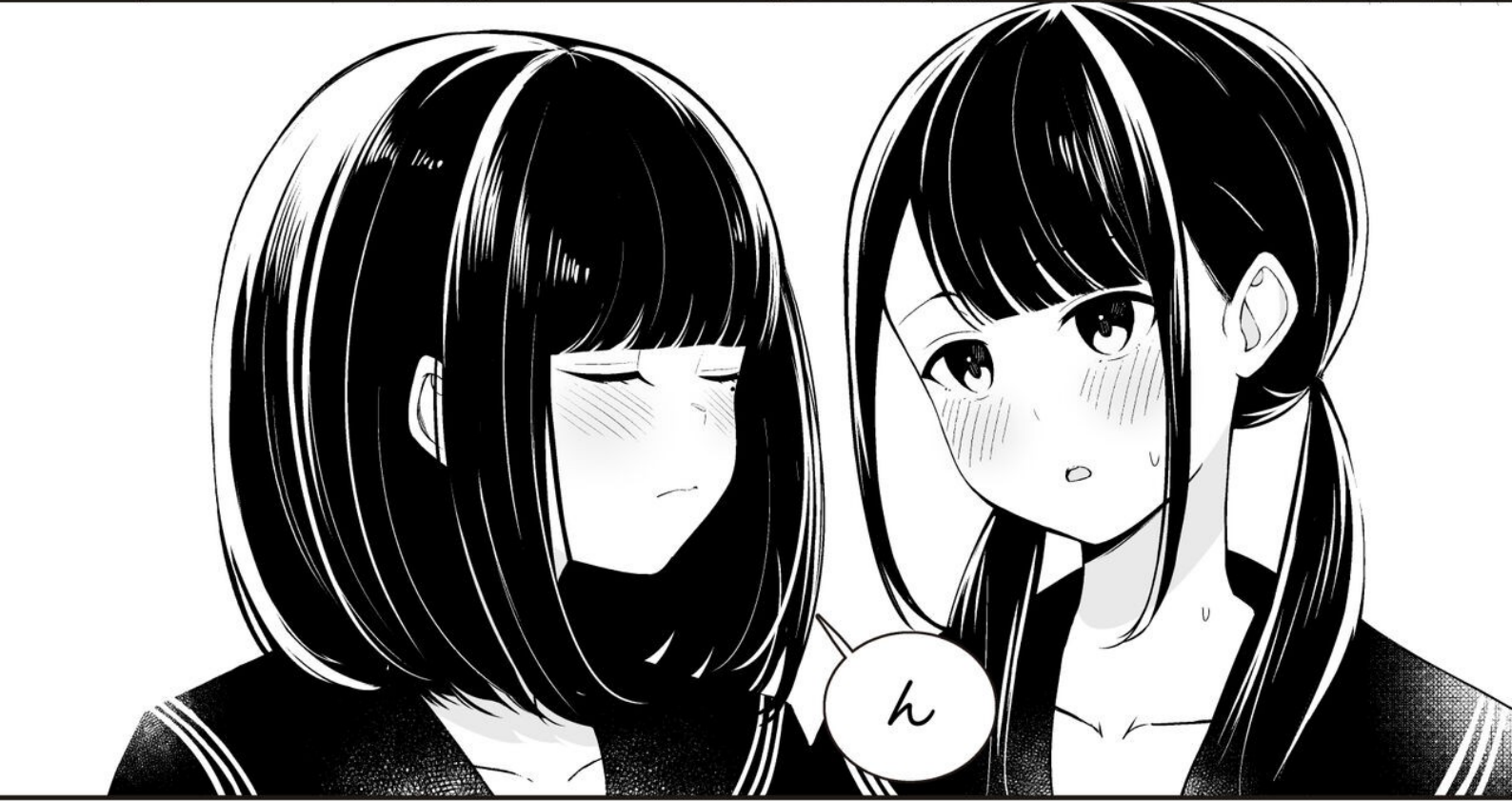
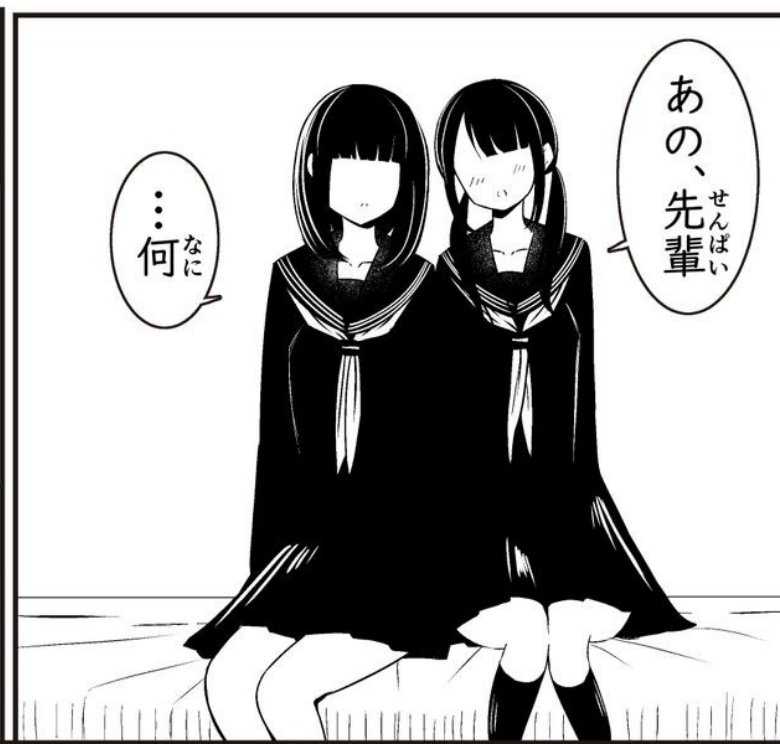


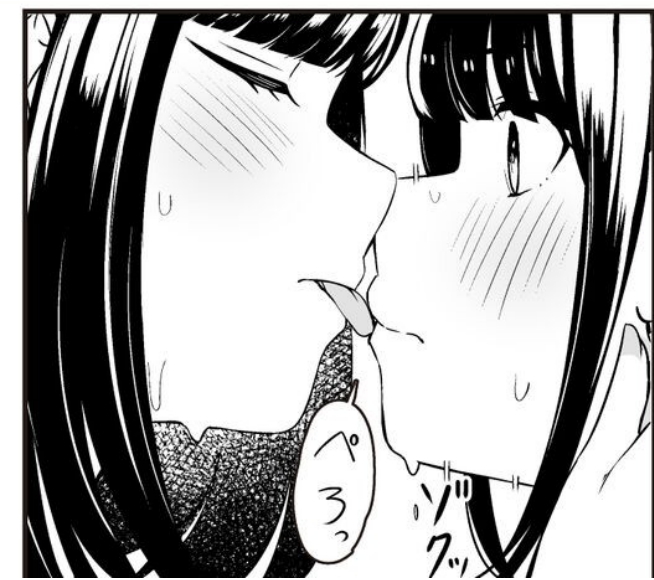
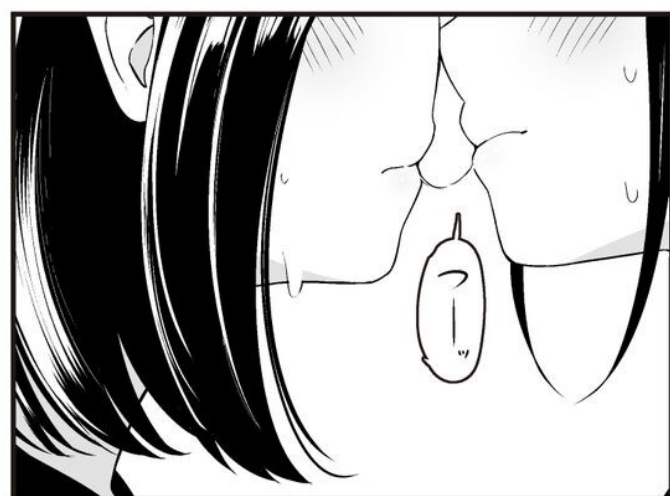
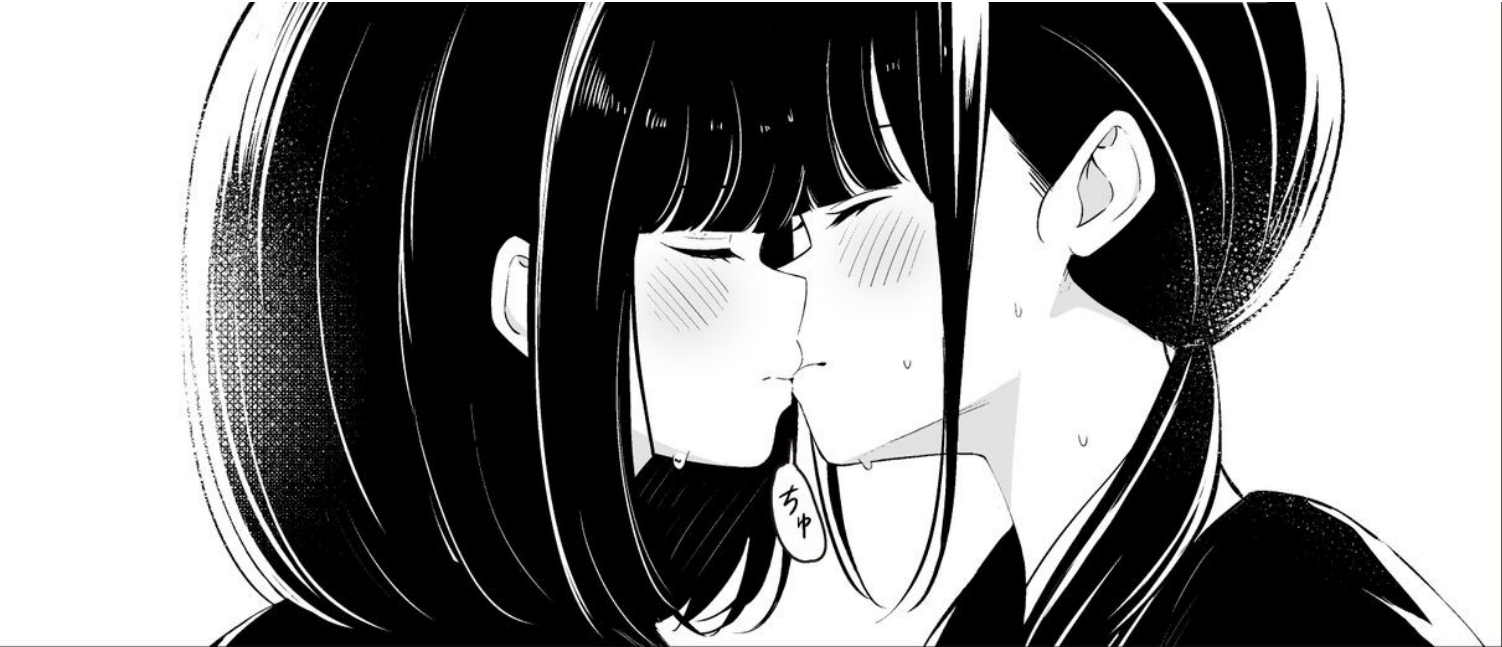
うち
家で続き…
しませんか？

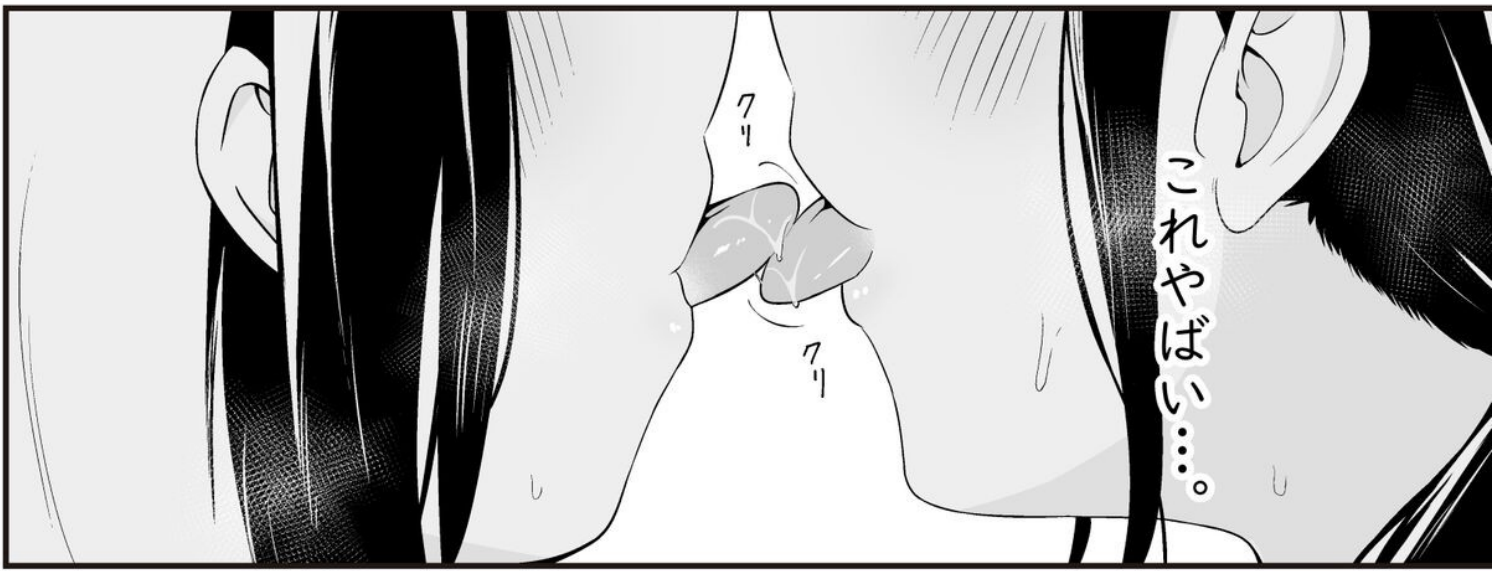


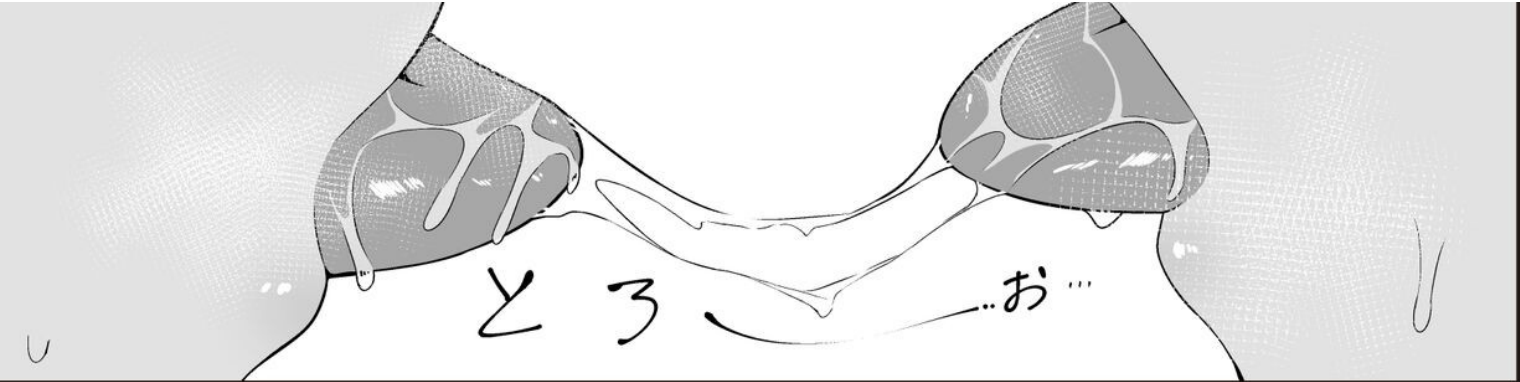
きょう
今日の私は、
わたし
ぜったい
絶対どうかしてる。













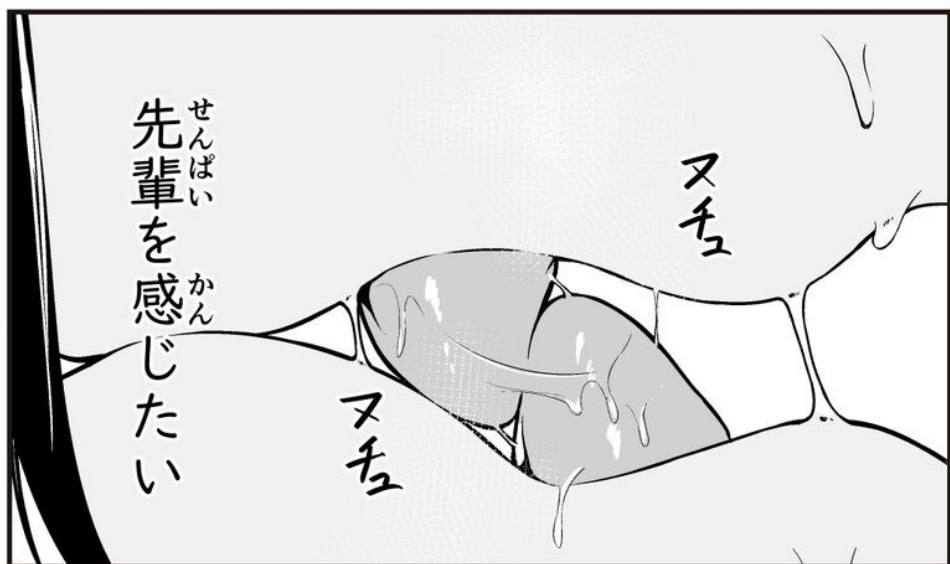
せんぱい
先輩のこと——

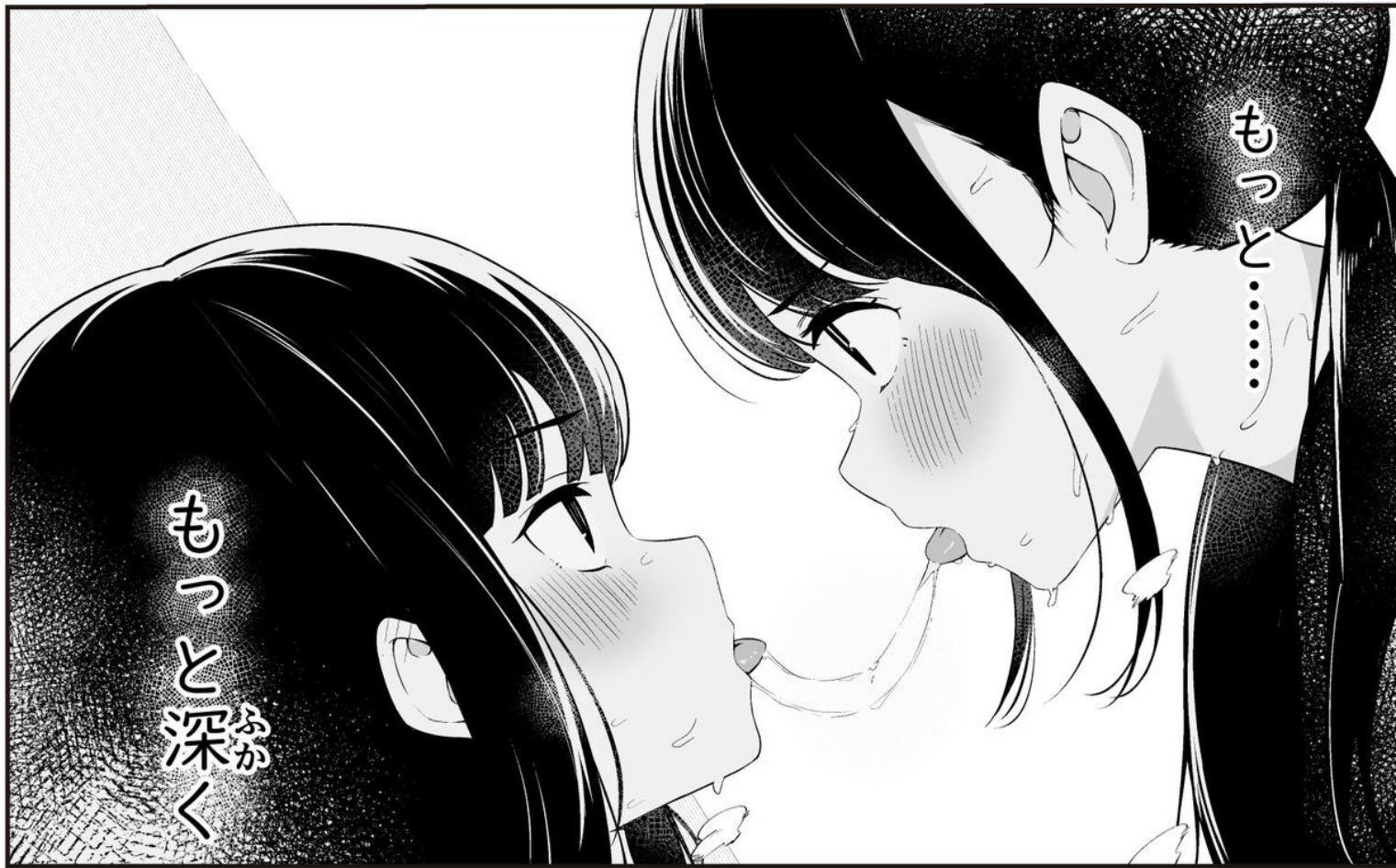
いいですよね？

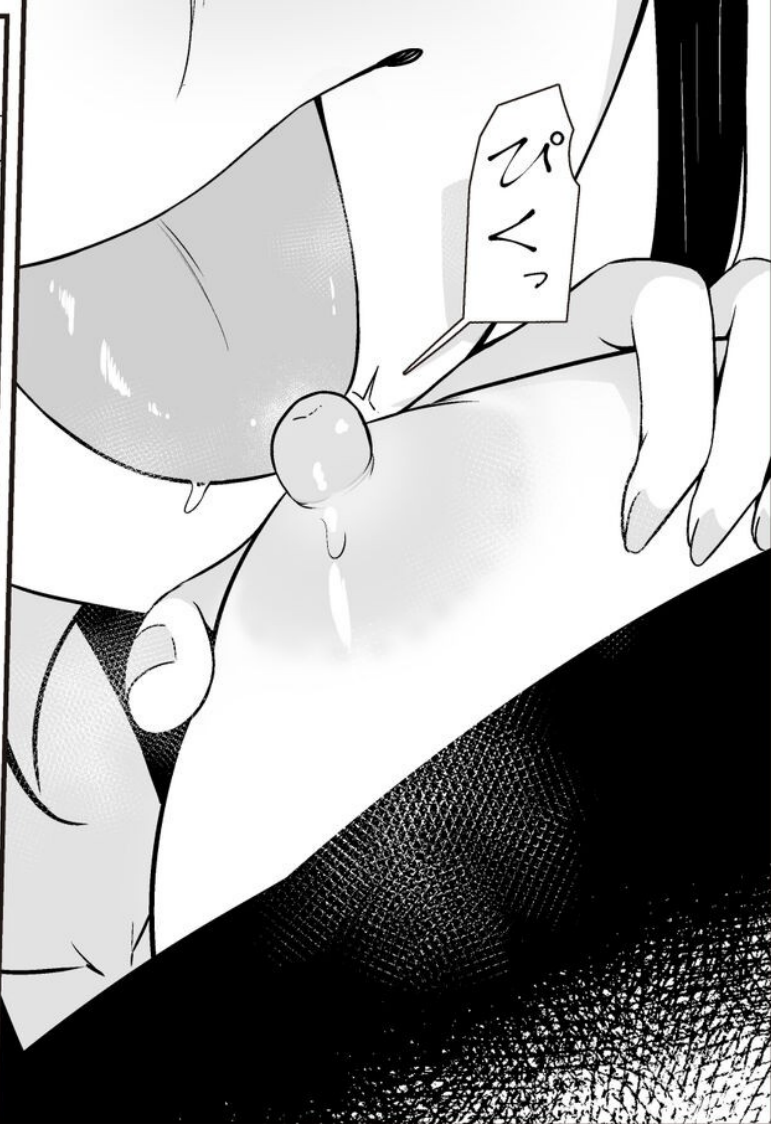


せんぶ
全部。

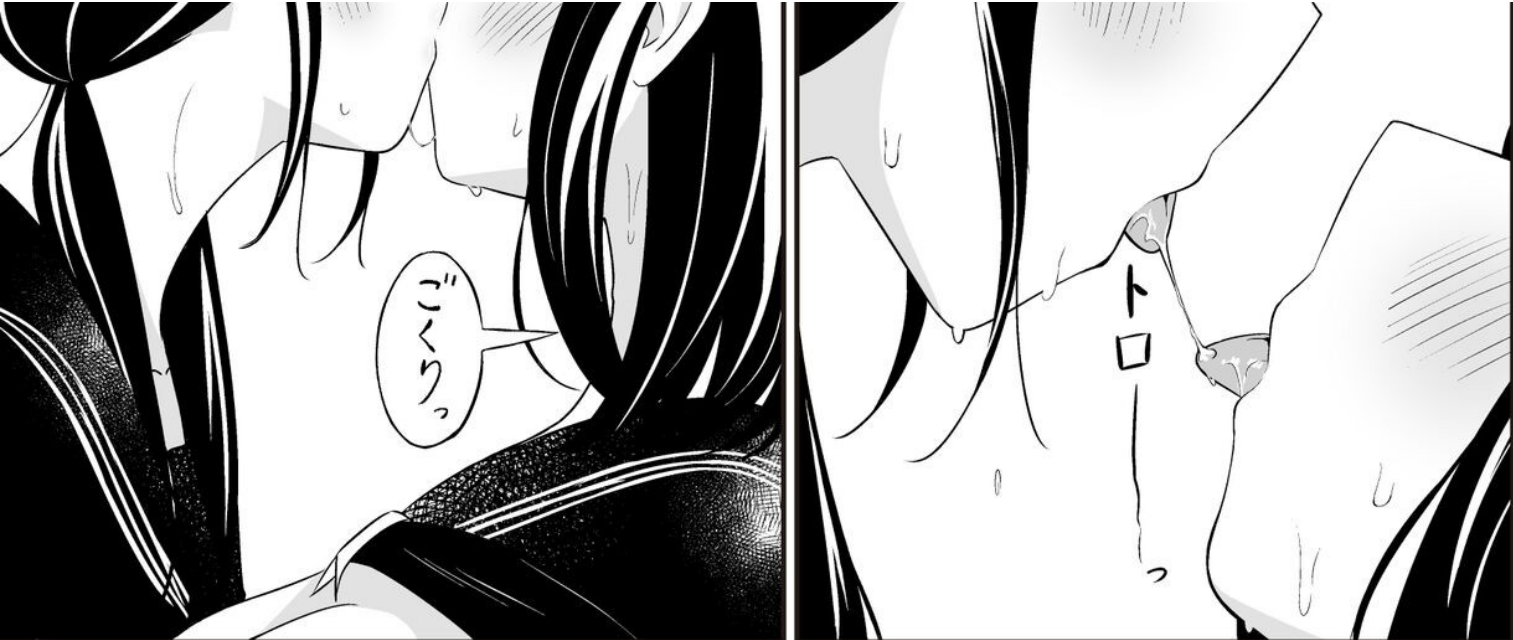
……っ











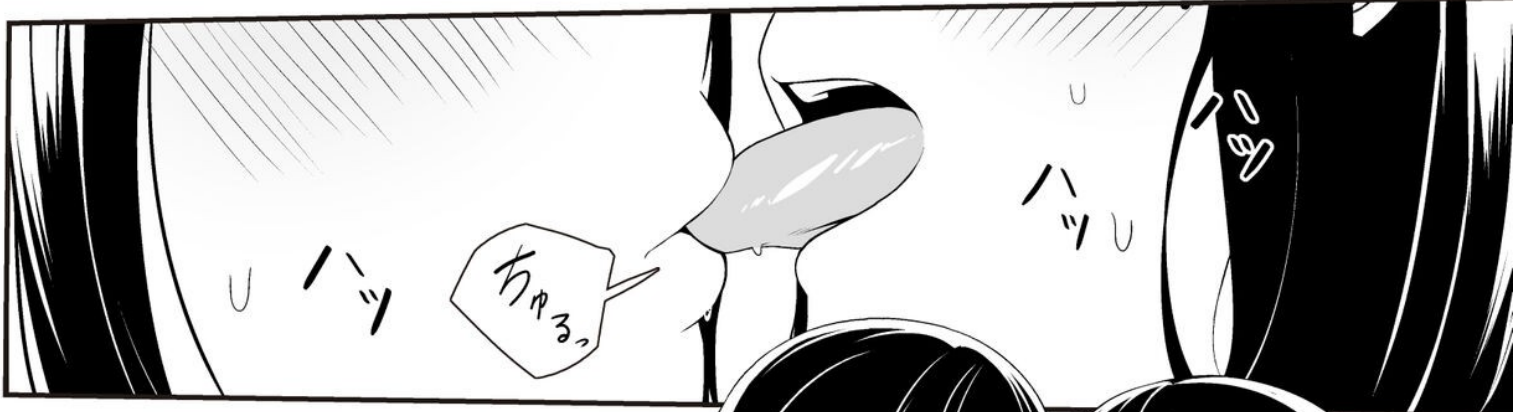
ごくりっ

トロ



じゃあ、先輩せんぱいに
教おしえてあげます

私^{わたし}が知^しってる^る
気持^きち^もい^いこ^と…全^{ぜん}部^ぶ



聞き必要は
なさそうですね

気持ちいいですか？
…先輩



先輩も私の真似をして、触ってみてください

ん…っ
こう？

くちゅ
くちゅ…っ
くちゅ…っ
とっ…

はい…っ
とっても…上手ですっ

ぬる…
ぬる…
ぬる…
くちゅ
くちゅ
くちゅ



お尻こっちに向けてください

とっお…



少し体勢を変えますよ

この感情は
かんじょう
なん
何だろぅ…

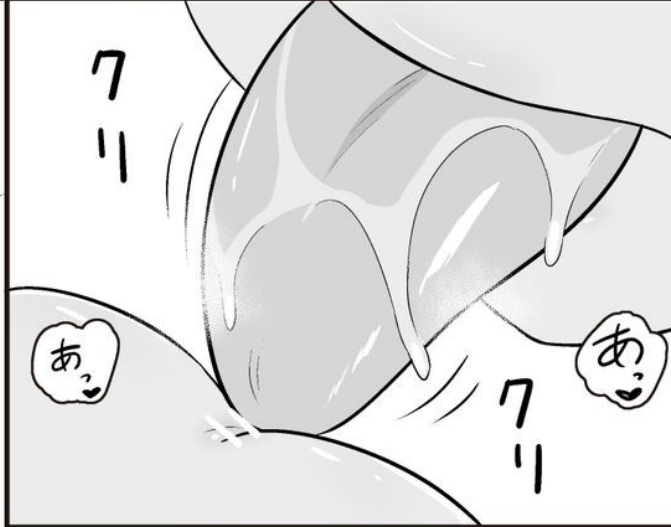
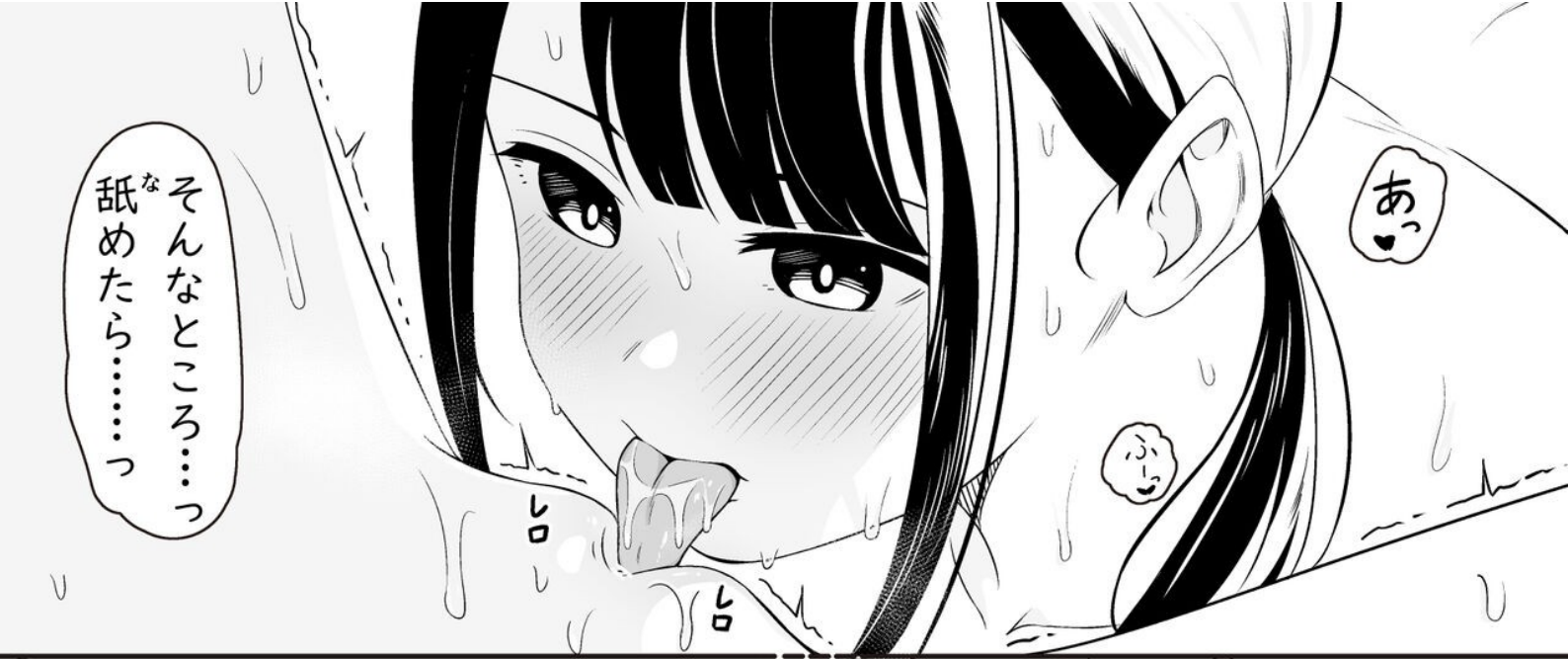
この体勢
は
たいせい
恥ずかしい…っ

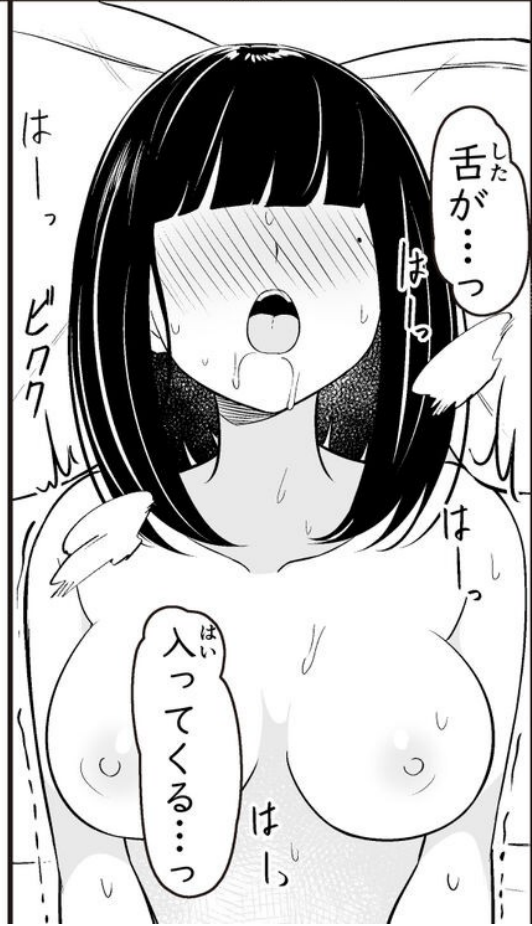
グニ

可愛い
かわい
ですよ

ヌト…

グイッ



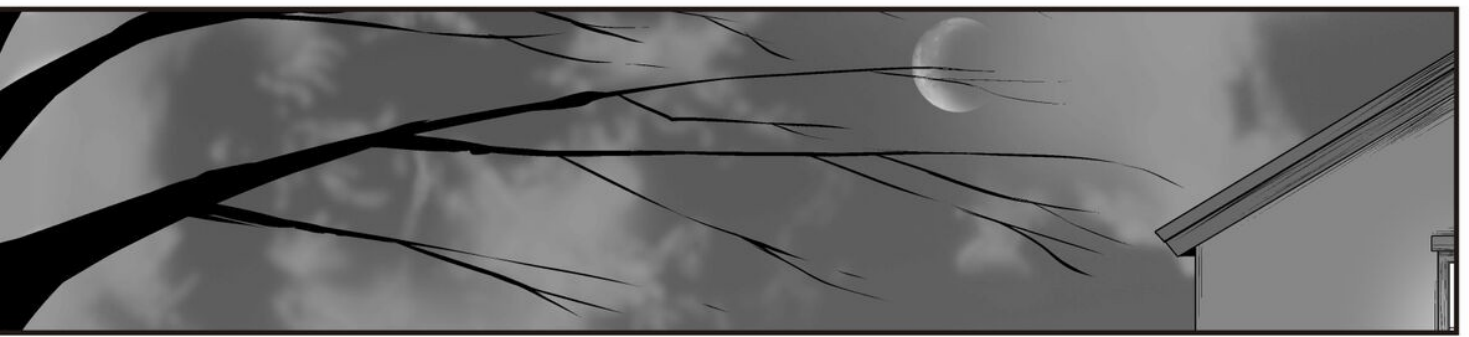




先輩せんぱい

私わたしの貴方あなたのことが





また明日
あした
がっこう
で
学校で

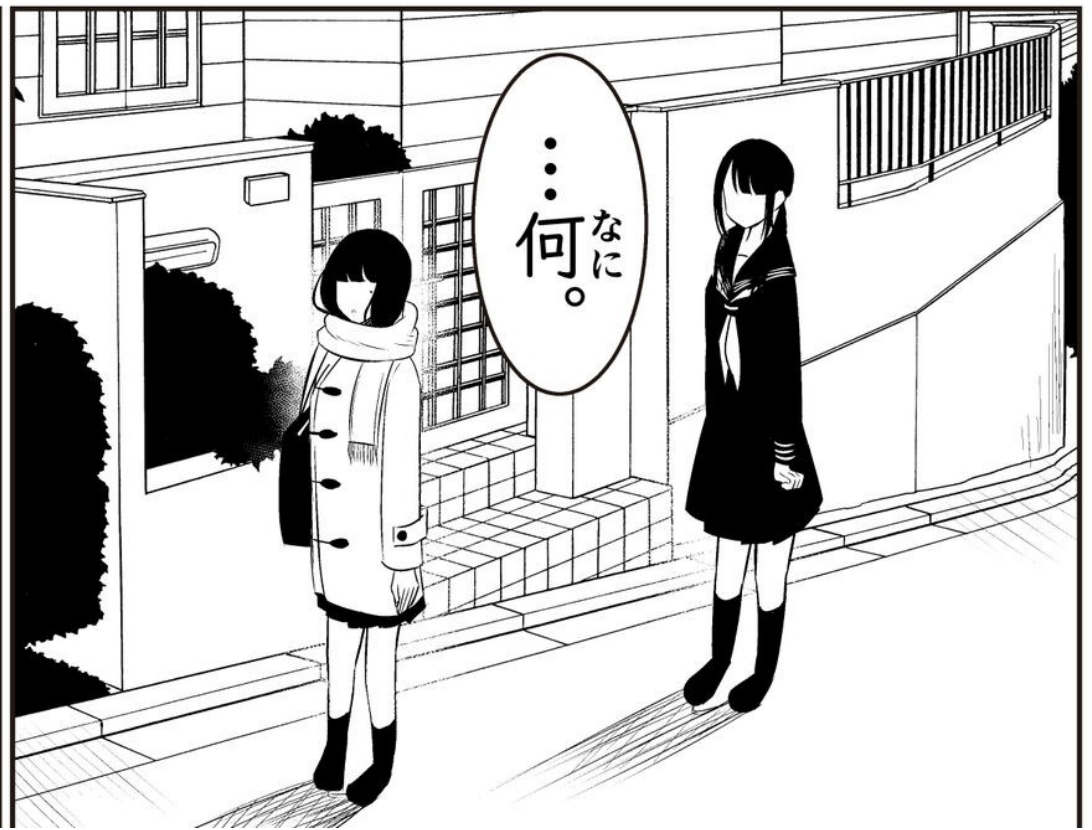


駅まで
えき
おくり
送ります
ようか？

大丈夫
だいじょうぶ



あの…
せんぱい
先輩!!



なに
何。



あい
愛してます





「.....ニコ。」



あとがき

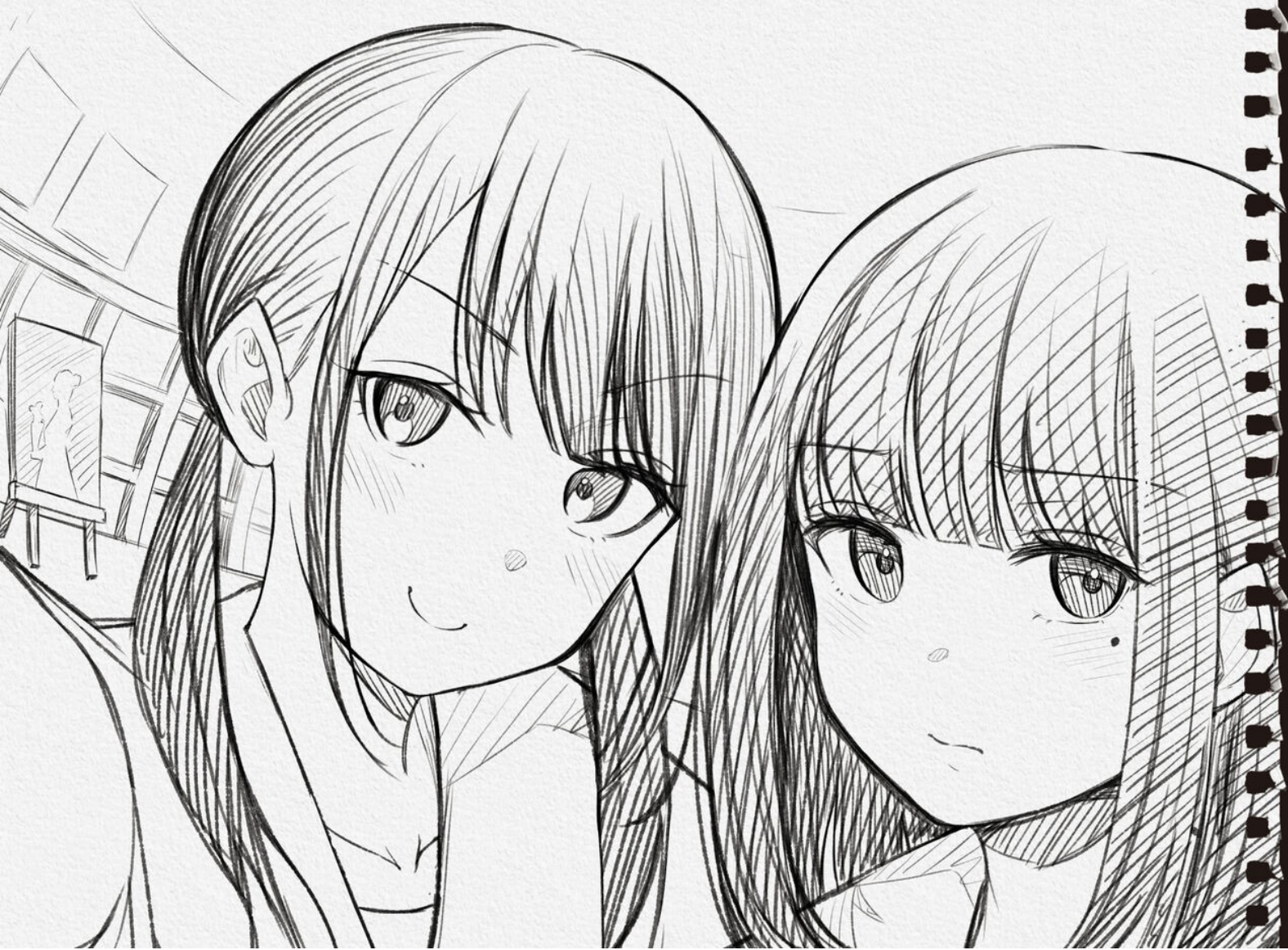
「先輩」と「私」を手にとってくださり、ありがとうございます。

本書のテーマは、「少ない言葉で気持ち伝わる、そんな関係」でした。隣に立つだけで世界が美しく見える、そんな二人を見たくて描いた話です。

値段に対してページ数が少ないことに、ずっと罪悪感を感じていたので、今回は思い切って40ページにしてみました。ものすごく大変でしたが、その分、いい作品になったと思います。……たぶん。

では、またどこかでお会いしましょう。またねっ。

桜ゆづ



せんぱい
「先輩」と「私」

さくら
桜ゆう



「先輩」

美術部の先輩。2年生。
黒髪ボブのいかにも文系といった
感じの見た目。実際は数学の方が
得意。
教室ではいつも一人で本を読んでいる。
クールで人を寄せ付けない印象



「私」

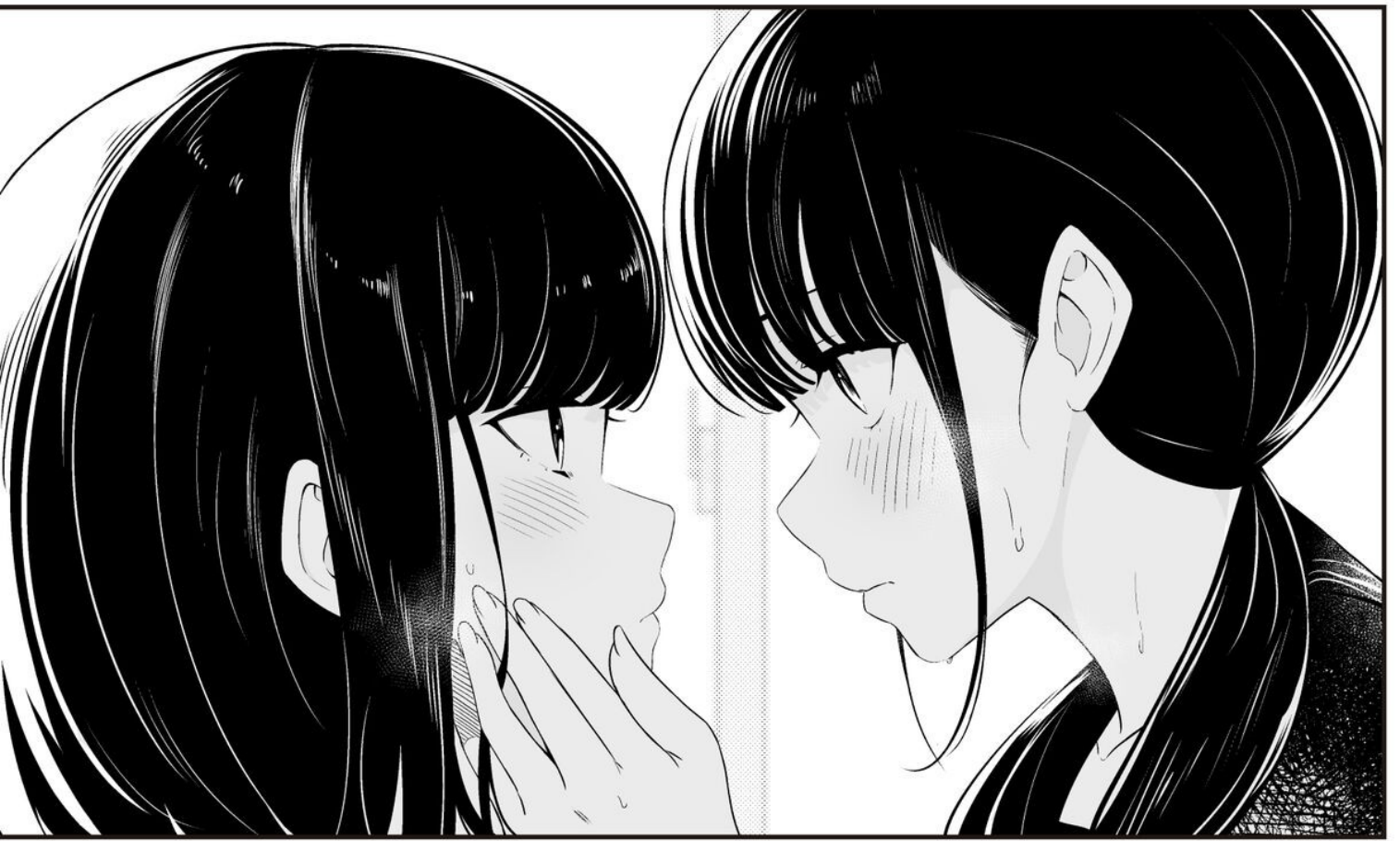
先輩に一目惚れして美術部に入る。
先輩と同じ高校に行きたいから、
勉強を頑張ってるらしい。
先輩はこっそり志望校のランクを
少し下げたとか。
要領は悪いけど人一倍努力家。

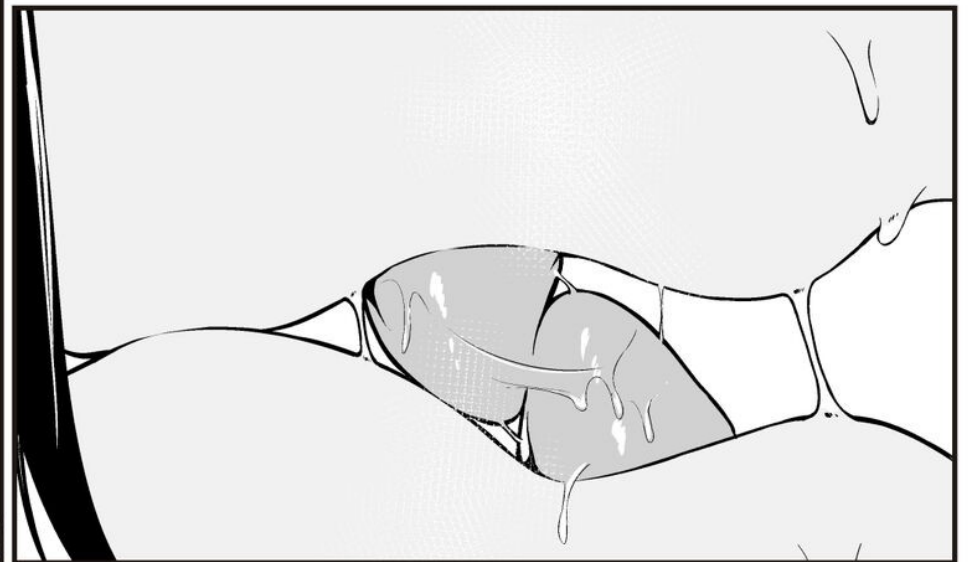
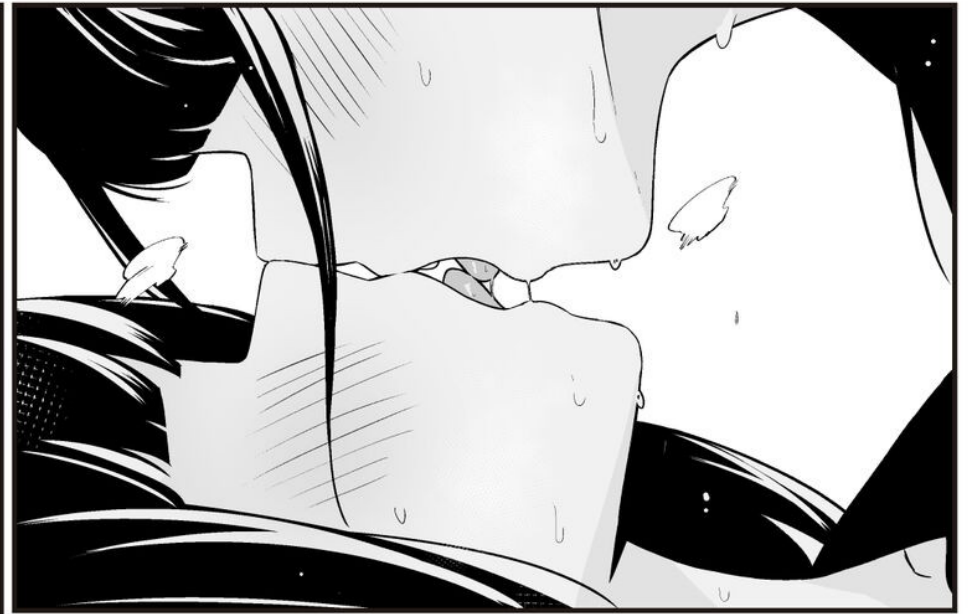


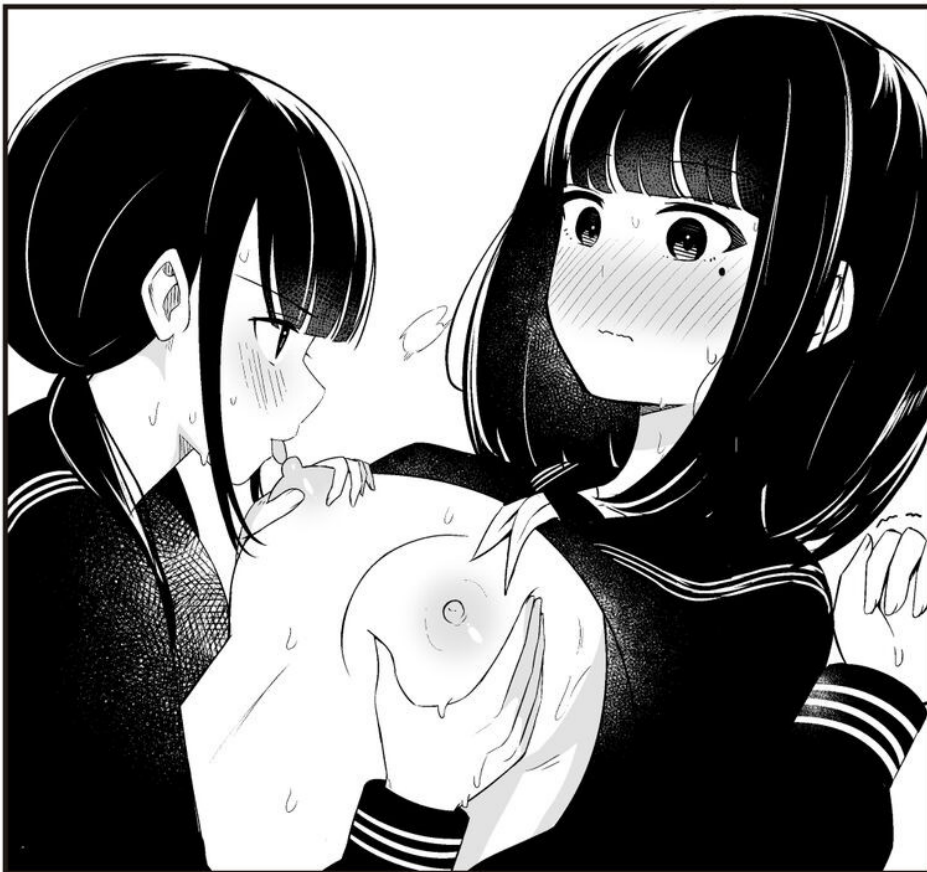
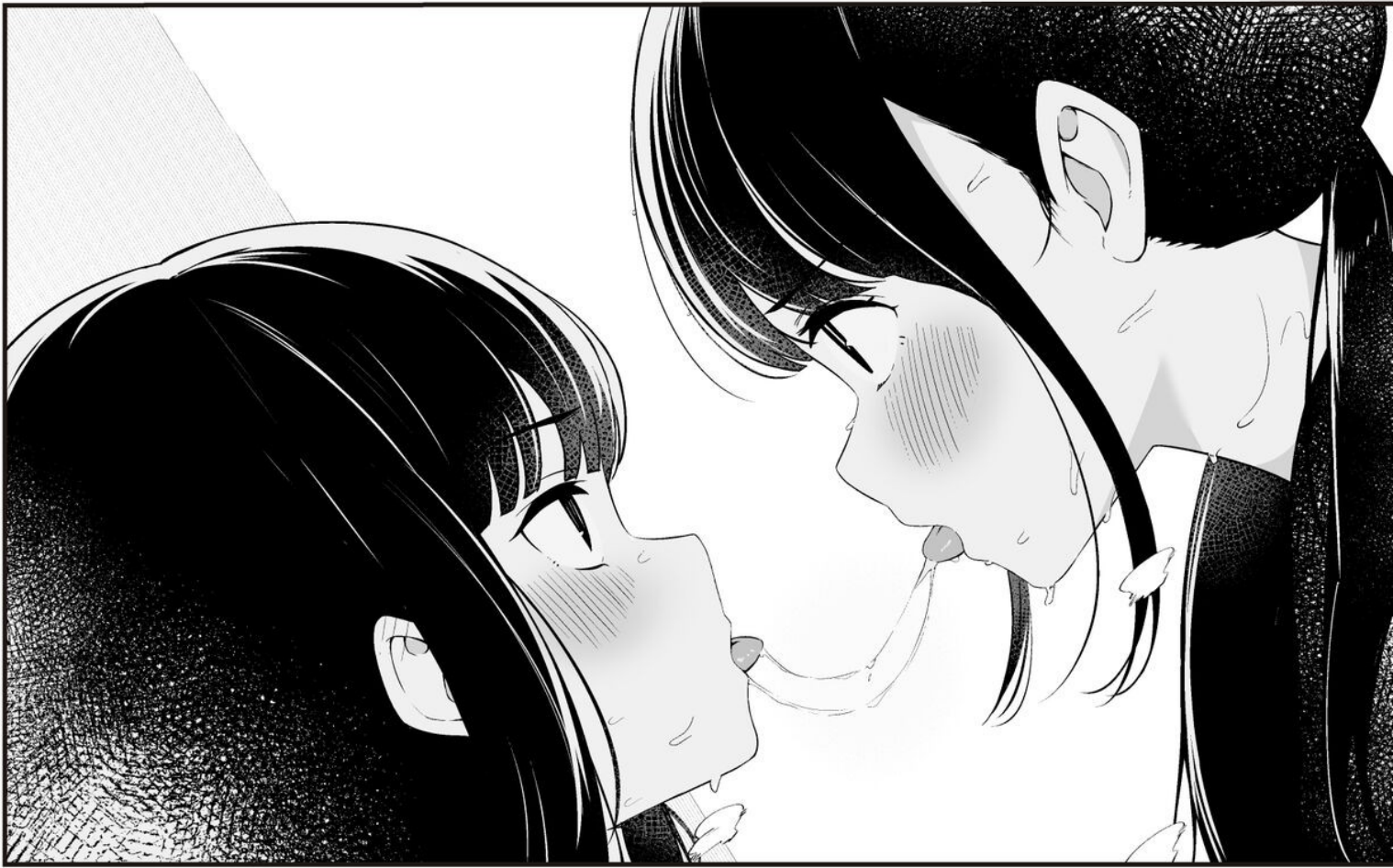
セリフなし おまけコーナー







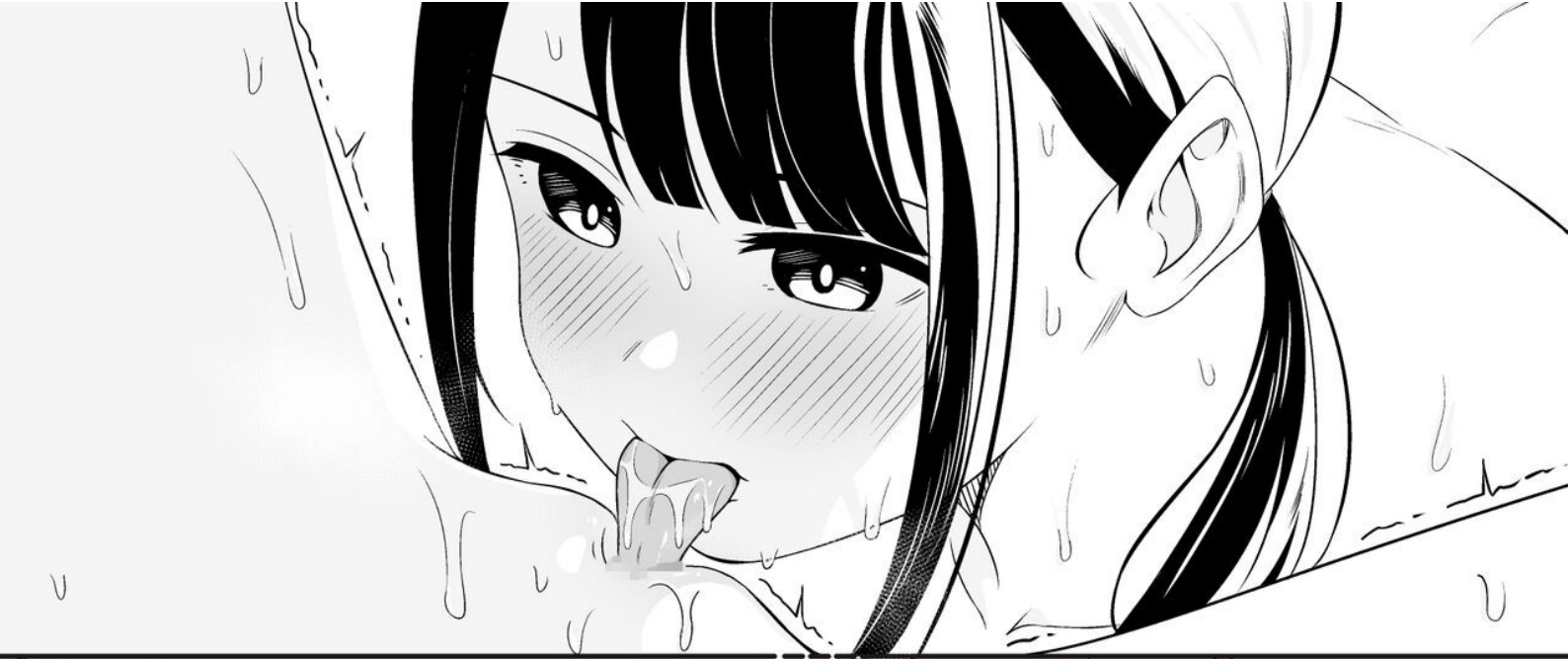


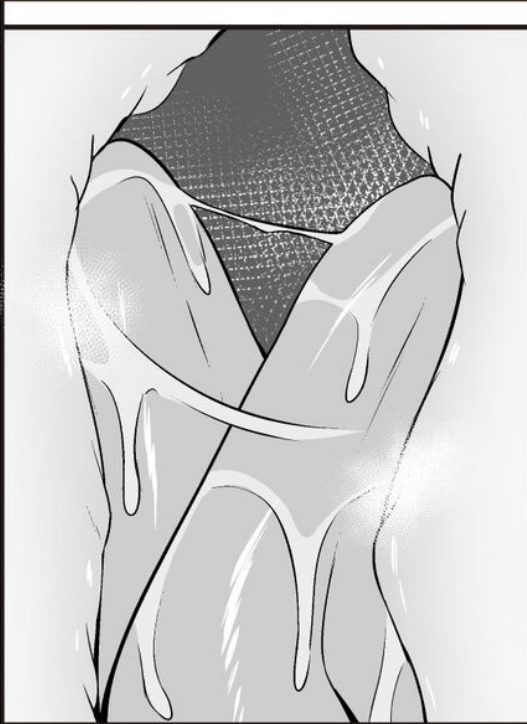




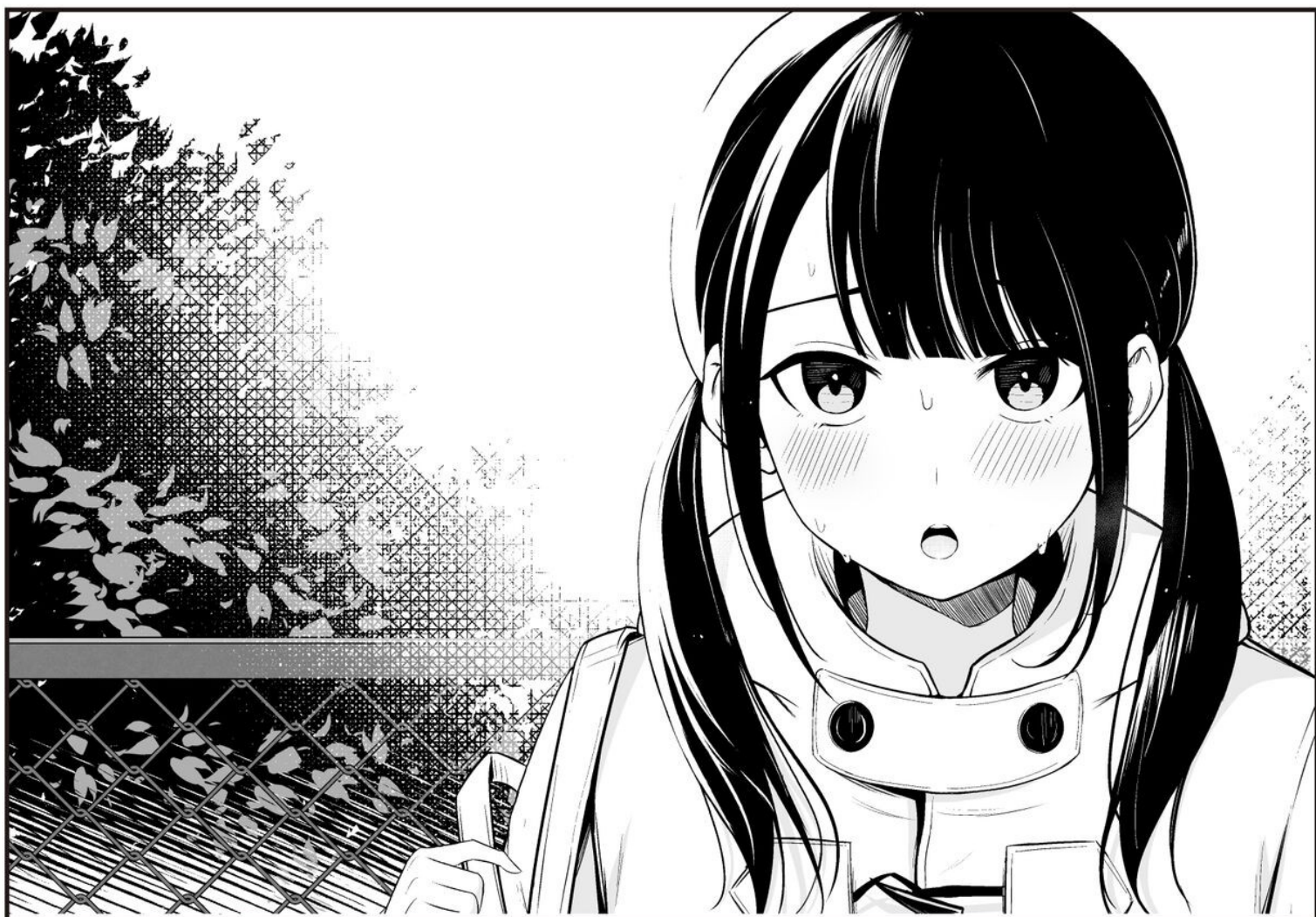












またね！

漫画：桜ゆう
協力：SAKURA—YU

君と青い

キスを。

← 作中で「私」が読んでいた漫画

2

SAKURAYUCOMIC